

# Complete Dynamics

プラクティショナー編

iPad用

バージョン25.1について

## このマニュアルについて

このマニュアルはあなたにふさわしいか?

Complete Dynamicsのドキュメントは、多くのバージョンが用意されています。

プログラム構成によって、異なるマニュアルを用意しています。

- プログラムのエディション。Browser、Practitioner、Masterのいずれか。
- コンピュータの種類Apple OS-X、Windows、iPad、iPhone、Android。
- 様々な国際言語。

適切なマニュアルは、あなたの状況にびつたりと適合します。

もし、完璧なマニュアルを読んでいないと思われる場合は、当社のウェブサイト[www.completedynamics.com](http://www.completedynamics.com)、セクションドキュメントにアクセスし、そこからマニュアルをダウンロードしてください。

### 翻訳

Complete Dynamicsの新バージョンがリリースされるたびに、英語版マニュアルを最新版に更新しています。変更されたテキストの翻訳には、余分な時間がかかることがあります。

マニュアルの未翻訳部分は、このテキストのように印刷されたオリジナルの英語テキストが表示されます。

# ようこそ

Complete Dynamics - Practitioner Edition へようこそ。

Complete Dynamics ソフトウェアプログラムは、コンピュータを使ったComplete Repertory の読解と学習において、究極の体験を提供します。ホメオパシーの専門家の間では、Complete Repertory は、その完全性、正確性、原典の網羅性で世界的に有名です。

Apple macOS®, Microsoft Windows®, Linux®, Apple iOS®, Android®でご利用いただけます。

プラクティショナー版では、以下のことができるようになります。

- Complete Repertory 全文を多言語で読み、学ぶことができます。
- 患者のケースファイルを管理する。
- 分析を行う。
- マテリアメデイカの本を読む。

このページは、プログラムの使い方を説明するためのものです。

まずは、はじめにのセクションで、可能性の概要を知ることをお勧めします。

Complete Dynamics が、プロのプラクティショナー、学生、教師、研究者に関わらず、あなたのホメオパシーライフを豊かにすることを心から願っています。

Complete Dynamicsの開発チームです。

# はじめに

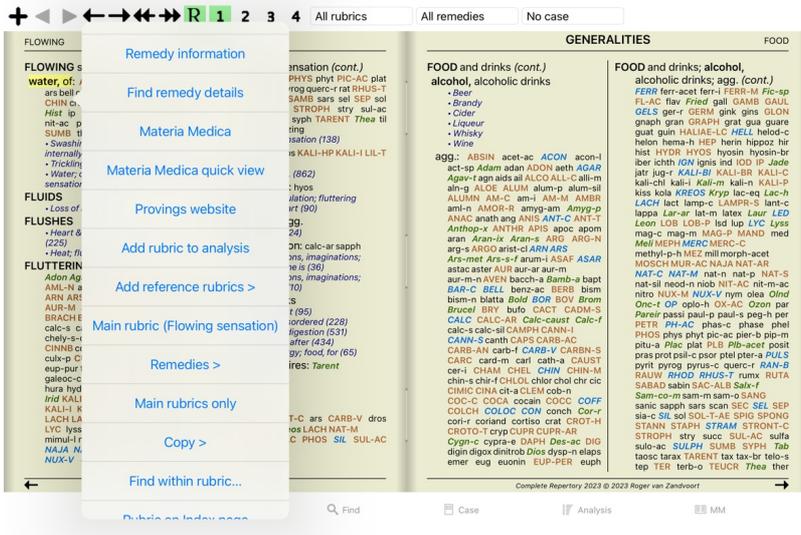
## 直感的なデザイン

Complete Dynamics は、ホメオパシーの専門的なバックグラウンドを持つ人が、直感的に使えるように設計されています。プログラムの一部の機能は、ちょっとしたコツを覚えれば、より効果的に使うことができます。

## ポップアップメニュー

多くの場面で、ポップアップメニューは機能への素早いアクセスを可能にします。画面をタッチして1秒間押し続けるだけです。すると、クリックした項目に空きがあれば、メニューが表示されます。

例



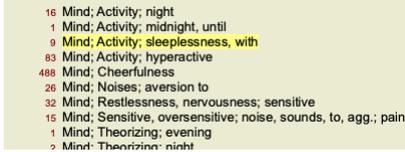
## 複数選択可

選択した1つの項目だけでなく、複数の項目に対して同時にある作業を行いたい場合が多々あります。このような場合、まず複数の項目を選択し、選択されたすべての項目に対してタスクを実行することができます。

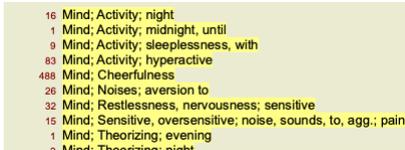
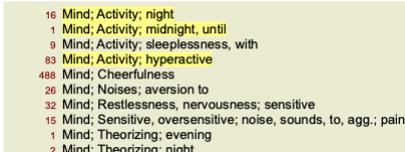
### 複数の項目を選択する方法

以下の例は、Analysis モジュールのループリックを複数選択したものです。他の場所でも、原理は同じです。

1本の線を選択するには、マウスでクリックするだけです。



また、テキストの左側をクリックすることで、1行の選択範囲を変更することができます。(Book とFind モジュールで、ループリックラベルの左側をクリックすると、次のようになります。)



### 複数の選択項目に対して動作するアクション

#### ブックモジュール

Book モジュールでは、複数のループリックを選択することができます。複数のループリックに対応する機能もあれば、1つのループリックのみに対応する機能もあります。

複数のループリックで動作する機能です。:

- 分析にループリックを追加する。(ポップアップメニューオプションループリックを分析に追加)
- 分析中の所定の症状にループリックを追加する。(ポップアップメニューオプションループリックグループに追加/新しい症状)
- ループリックラベルをクリップボードにコピーする。(ポップアップメニューオプションコピー・ループリック/コピー (レメディを除く))
- ループリックラベルを、そのレメディと一緒にクリップボードにコピーする。(ポップアップメニューオプションコピー・ループリック/コピー (ループリックとレメディ))

その他の機能は、1つのループリックで動作します。複数のループリックを選択した場合、最後にクリックしたループリックが使用されます。

#### モジュールの検索

Find モジュールでは、複数のループリックに関する機能はBook モジュールと同じです。

#### ケースモジュール

Case モジュールにおいて、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数の解析結果を削除する。(ポップアップメニューオプション分析を削除する)
- 複数の解析結果を別のケースに移動することができます。(ポップアップメニューオプション分析を症例に移す)
- 複数の処方箋を削除する。(ポップアップメニューオプション処方箋の削除)

## 解析モジュール

Analysis モジュールで、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

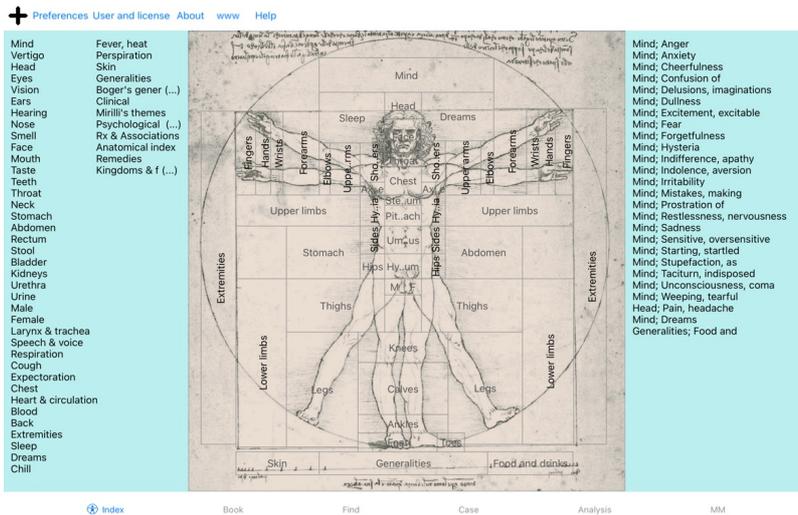
- 複数のルビや症状を削除する。(ポップアップメニューオプション削除).
- 重み係数を割り当てる。(ツールバーボタン $\mathbf{2}$ , ポップアップメニューオプション重み/重みx2). などなど。
- 症状の分類クラスを割り当てる。(ツールバーボタン $\mathbf{O}$ , ポップアップメニューオプション症状分類/ブツラ). などなど。
- グループ化機能のすべて
- ルビコンラベルをコピーする機能、救済措置の有無。
- 選択したループリックをコピーして、別の分析に貼り付けることができます。(ポップアップメニューオプションその他/コピー, ポップアップメニューオプションその他/ペースト).
- 選択したループリックを別の症状へ上下に移動させる。(ツールバーボタン $\uparrow$ , ポップアップメニューオプションその他/上へ, ツールバーボタン $\downarrow$ , ポップアップメニューオプションその他/下へ).
- 複数のループリックを選択すると、分析結果エリアにそのループリックの救済措置が強調表示されます。
- 分析結果領域で複数の改善策を選択すると、その改善策が含まれるループリックが強調表示されます。

## MMモジュール

レポーター MM モジュールのセクションで、複数のループリックに関する機能は、Book モジュールと同じです。

### インデックスタブ

Complete Dynamicsの主要なモジュールには、インデックスタブと呼ばれる方法でアクセスできます。  
Practitioner edition これらは、Index, Book, Find, Case, Analysis and Materia Medica.



**Index** モジュールでは、テキストとグラフィックの両方を用いて、本の章にすばやくアクセスすることができます。詳しくはヘルプのインデックスモジュールをご覧ください。  
**Book** モジュールはレポーターを表示します。印刷された本のように読むだけでなく、より凝縮された形で見ることができます。詳細はヘルプセクションブックモジュールをご覧ください。  
**Find** モジュールは、書籍内のループリックやレメデイを検索するための強力な機能を備えています。詳しくはヘルプのFind moduleをご覧ください。  
**Case** モジュールにより、患者のケースファイルを作成し、整理することができます。詳しくはヘルプセクションケースモジュールをご覧ください。  
**Analysis** モジュールは、お客様のケースの分析に使用されます。詳しくはヘルプの解析モジュールをご覧ください。  
**Materia Medica** モジュールはレメデイに関する情報を提供します。詳細は、ヘルプセクションMateria Medica モジュールを参照してください。

### ボタンバー

画面上部には、よく使う機能に素早くアクセスできるボタンバーを配置。

# iOS版

## iOSの利用について

Apple iPad®には、PCで使用するようなマウスやキーボードはありません。また、iPadにはPCのアプリケーションのようなメニューバーがありません。その代わりに、キーボードキーやメニューバーで利用可能な機能を提供するために、ポップアップメニューが使用されています。

iPadのタッチスクリーンには、ジェスチャーと呼ばれるPCにはないいくつかの可能性がります。Complete Dynamics で使われている、これらのジェスチャーの例は、次のとおりです。

- スワイプする画面上に指を置き、左右上下にスワイプすること。本のページをめくるときによく使われる。また、画面に収まりきらない大きさのコンテンツをスクロールさせる場合にも使用します。
- ピンチ2本の指を画面上に置き、互いに近づけたり遠ざけたりする。Bookモジュールで、文字を小さくしたり大きくしたりするのに使います。

iPadとPCの間でケースを共有する場合、PC同士とは少し勝手が違います。iPadとの間でファイルをコピーするには、PCのiTunesアプリケーションを使用する必要があります。これについては、ケースモジュール、ケース共有の下に特別なセクションがあります。

## デバイスの向き

iPadは、横向きと縦向きと呼ばれる2種類の姿勢で持つことができます。Complete Dynamicsアプリケーションは、iPadの持ち方に応じて、情報の表示方法を自動的に調整します。

このマニュアルの写真はすべてiPadを横向きにした状態で撮影しています。ポジションを変えたときにどう見えるか、何が一番便利かを自分で判断することが大切です。

## スピードとメモリー

iPadは、本物のPCのように、ほぼ無限のスピードとメモリーを持つ大型コンピュータではありません。Complete Dynamicsは非常に複雑で大規模なプログラムであるため、iPad版にはいくつかの制約があります。これらの制限を理解すれば、問題ないはずですが。

Complete Repertoryは、ほぼ250,000 rubricsを含み、2,500,000 remedyの項目を保持しています！Find モジュールで特定の情報を検索するには、これらすべての情報を比較する必要があります。これを効率よく行うために、プログラムはできるだけ多くの情報をメモリー上に保持しようとする。情報がメモリー上にない場合は、データベースから読み出す必要がある。

初めて検索を行う場合、検索に比較的時間がかかることに気づくかもしれません。しかし、ルビとレメディーはすでにメモリー内にあるため、次の検索はかなり速く、数秒しかかからないこともあります（クエリーの複雑さにもよりますが）。

## 1プログラム以上

iPadでは通常、1つ以上のプログラムを使用します。これらのプログラムはすべて、iPadの限られたメモリーを使用して実行する必要があります。すべてのプログラムに対して十分なメモリーがない場合、iPadはプログラムに対してメモリーの解放を要求します。この場合、Complete Dynamicsは可能な限りメモリーを解放します。その結果、次のFindにまた時間がかかってしまうかもしれません。

あるプログラムで作業している間、他のプログラムは何もしない。この間、メモリーに余裕がなくなると、iPadは警告を出さずに他のプログラムを終了させるだけです。これはPCで行うようなことではなく、iPadのソフトウェアがこのように設計されているのです。プログラムを終了するとき、iPadはより大きなプログラムを終了することを好みます。単なる小型ゲーム機用プログラムではないので、ほとんどの場合、Complete Dynamicsになるでしょう。これは、他のプログラムで作業しているときに、Complete Dynamicsが静かに終了し、次に選択したときに最初からやり直さなければならないことを意味しています。

予期せず強制終了されるのを防ぐため、Complete Dynamicsは他のアプリケーションに切り替えたときにできるだけ多くのメモリーを解放します。元に戻すと、それまで解放していた情報を再び読み出します。これは、Find モジュールとReverse Materia Medica で最も顕著に見られる。これらのモジュールは、すべてのテキストとレメディーがすでにメモリー内にある場合、より高速に動作します。メモリーの状態は、ツールバーに表示されます。

-  ルーブリック名やレメディーはすべてメモリーしています。これで検索が速くなる。
-  一部の重要な情報はまだ読み取られていません。サーチはしばらくお待ちください。
-  ルーブリック名は記憶されているが、レメディーは記憶されていない。テキストの検索が高速になります。救済措置の検索に時間がかかることがあります。
-  ルーブリックの名前はまだ読まれていません。検索に時間がかかることがある。
-  iPadが強制的にメモリーを解放。検索に時間がかかることがある。情報の読み取りが停止している場合は、ボタンをクリックして読み取りを再開してください。

環境設定により、メモリー解放の有効・無効を設定することができます。

## データの保存

プログラムはiPadによっていつでも静かに終了させることができるため、適切なタイミングで症例データを保存しようとする。ケースデータは、次の場合に自動的に保存されます。

- 数秒間、何もしない。
- 他のアプリケーションに切り替えたとき。
- 未解決事件を解決する。

## 最適なパフォーマンスを実現するためのヒント

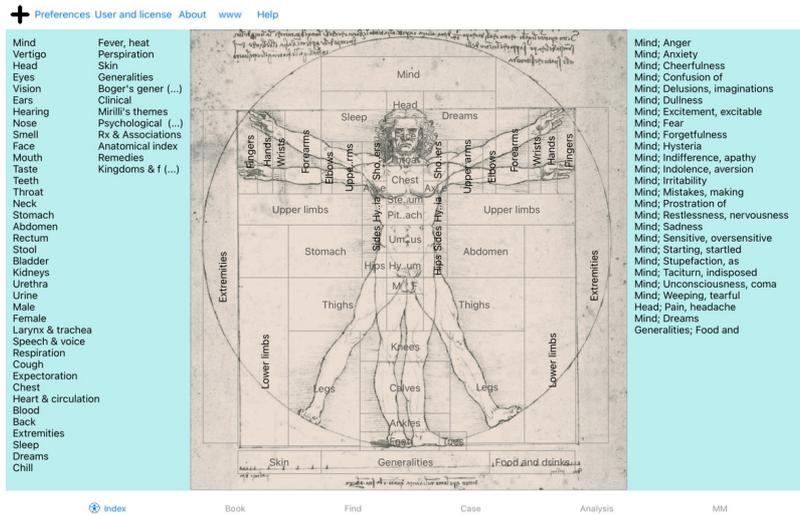
Complete Dynamicsは、次のような場合に最適なパフォーマンスを発揮します。

- 必要としない場合は、他のプログラムに切り替えしないでください。
- 本当に使っていないアプリケーションはすべて閉じてください。

# インデックスモジュール

## Index モジュールを開く

Index タブをクリックし、Index モジュールに移動します。



## Indexモジュールの使用

インデックスモジュールにより、レポートリーの内容に素早くアクセスすることができます。

3つのエリアに分かれています。

- 左側はレポートリーの章立てのインデックスです。

- 中段はグラフィカルなインデックスです。

- 右側には、よく使われるルーブリックのクイックインデックスがあります。

項目をクリックするだけで、アクションを実行できます。

## 複数のレポートリーを使用する

レポートリーのライセンスをお持ちの場合、レポートリーのチャプターへのインデックスにもレポートリー名が表示されます。

Complete Repertory (...)

レポートリー名をクリックすると、次のレポートリーが選択され、そのチャプターが表示されます。

また、ポップアップメニューを表示し、レポートリーを選択することもできます。





ABUSIVE	MIND	MIND	ABUSIVE
<b>ABUSIVE, insulting:</b> (39/124) <ul style="list-style-type: none"> <li>General (980)</li> <li>Answer, answering, answers; offensive</li> <li>Contemptuous (20)</li> <li>Cursing, swearing, desires (35)</li> <li>Insolence, impertinence (19)</li> <li>Nipping at everyone</li> <li>Quarrelsomeness, scolding (67)</li> <li>Rudeness (17)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> <li>Psychological themes; aggression (336)</li> </ul> <b>forenoon:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Forenoon (21)</li> </ul> <b>evening:</b> (0/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Evening; egg (146)</li> </ul> <b>acts, after indecent:</b> (0/1) <b>angry, without being:</b> (0/2) <b>crying, with:</b> (1) <b>drunkards, in:</b> (1/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Alcoholism, dipsomania; egg; ailments from (20)</li> </ul> <b>fever, during</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever; during (146)</li> </ul> <b>intermittent:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever; during (146)</li> <li>Fever, heat, intermittent, malarial (153)</li> </ul> <b>typhoid:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever, heat, continued, typhoid (124)</li> </ul> <b>irritability, with:</b> (0/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Irritability (367)</li> </ul> <b>jealousy, out of:</b> (1/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Jealousy (35)</li> </ul>	<b>ABUSIVE, insulting (cont.)</b> <b>menses, before:</b> (1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Menses; before (69)</li> </ul> <b>molestation, after:</b> (0/1) <b>mamma molested:</b> (0/1) <b>opposition, from:</b> (0/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>pain, with:</b> (0/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Cursing, swearing, desires; pains, at</li> </ul> <b>associates, to:</b> (1) <b>calling names and scolding, irritation agg:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>cares not what she says:</b> (0/1) <b>children insult parents:</b> (2/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Children; complaints in (153)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> <li>Psychological themes; aggression (336)</li> </ul> <b>children, towards her:</b> (0/1) <b>exhausted, until:</b> (0/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>family and children, to:</b> (2/6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; child (106)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>friends, even to his best:</b> (1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>husband, to:</b> (1/4) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; family (130)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>imaginary persons, at:</b> (1) <b>indecent language, in puerperal mania:</b> (1/2)	<b>ABUSIVE, insulting; indecent language, in puerperal mania:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Insanity, madness; delivery, parturition; after, puerperal (22)</li> </ul> <b>passers-by:</b> (1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Face; bluish; lips (59)</li> </ul> <b>scolds until the lips are blue and eyes stare and she faints:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Faintness, fainting, with (27)</li> <li>Face; bluish; lips (59)</li> <li>Generalities; faintness, fainting; blueness of face, with (5)</li> <li>Generalities; faintness, fainting; scolding, from (1)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>snub one who differed from him, desire to:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>wife, to</b> <b>children, and:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; child (106)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> </ul> <b>in front of children or vice versa:</b> (0/6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; family (130)</li> <li>Mirill's themes; offensive (122)</li> <li>Psychological themes; aggression (336)</li> </ul> <b>ACCEPTANCE</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Appreciation, desires (7)</li> <li>Tranquility, serenity, calmness; reconciling, fate, to (2)</li> <li>Yielding disposition (24)</li> <li>Yielding disposition; no, cannot say, complies (3)</li> </ul>	<b>ACCOUNTS, makes mistakes in</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Mistakes, making; calculating, in (7)</li> </ul> <b>ACCUSATIONS, unjust, agg.:</b> (3/8) <ul style="list-style-type: none"> <li>Injustice, cannot support (11)</li> </ul> <b>ACRIMONIOUS</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Dwells; events, on past disagreeable (27)</li> </ul> <b>ACT for herself, no longer wishes to, in nervous debility:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Dependence (11)</li> <li>Will; loss of (19)</li> </ul> <b>ACTIONS</b> <b>absent, as if</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Absent-mindedness (69)</li> </ul> <b>foolish</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Foolish behavior (47)</li> </ul> <b>insane</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Insanity, madness (116)</li> </ul> <b>ludicrous</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Foolish behavior (47)</li> </ul> <b>masculine:</b> (0/1) <b>ACTIVITY:</b> (69/292) <ul style="list-style-type: none"> <li>General (983)</li> <li>Bed; aversion to (4)</li> <li>Boyanacy (7)</li> <li>Busy (59)</li> <li>Concentration; active (7)</li> <li>Enterprising (5)</li> <li>Exercise, exertion; amel. (3)</li> <li>Fancies; exaltation of (68)</li> <li>Hurry, haste (67)</li> <li>Ideas; many, too, abundant (50)</li> <li>Industrious, mania for work (66)</li> <li>Intellectual (52)</li> <li>Memory; active (21)</li> <li>Precision of mind increased (2)</li> </ul>

ABUSIVE	MIND	MIND	ABUSIVE
<b>ABUSIVE, insulting:</b> (54/124) <ul style="list-style-type: none"> <li>General (1251)</li> <li>Answer, answering, answers; offensive</li> <li>Contemptuous (26)</li> <li>Cursing, swearing, desires (50)</li> <li>Insolence, impertinence (24)</li> <li>Nipping at everyone</li> <li>Quarrelsomeness, scolding (103)</li> <li>Rudeness (26)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> <li>Psychological themes; aggression (481)</li> </ul> <b>forenoon:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Forenoon (30)</li> </ul> <b>evening:</b> (0/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Evening; egg (214)</li> </ul> <b>acts, after indecent:</b> (0/1) <b>angry, without being:</b> (1/2) <b>crying, with:</b> (1) <b>drunkards, in:</b> (1/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Alcoholism, dipsomania; egg; ailments from (25)</li> </ul> <b>fever, during</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever; during (185)</li> </ul> <b>intermittent:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever; during (185)</li> <li>Fever, heat, intermittent, malarial (203)</li> </ul> <b>typhoid:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever, heat, continued, typhoid (145)</li> </ul> <b>irritability, with:</b> (1/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Irritability (488)</li> </ul> <b>jealousy, out of:</b> (1/3)	<b>ABUSIVE, insulting; jealousy, out of (cont.)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Jealousy (50)</li> </ul> <b>menses, before:</b> (1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Menses; before (100)</li> </ul> <b>molestation, after:</b> (1) <b>mamma molested:</b> (0/1) <b>opposition, from:</b> (0/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>pain, with:</b> (0/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Cursing, swearing, desires; pains, at</li> </ul> <b>associates, to:</b> (1) <b>calling names and scolding, irritation agg:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>cares not what she says:</b> (0/1) <b>children insult parents:</b> (2/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Children; complaints in (179)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> <li>Psychological themes; aggression (481)</li> </ul> <b>children, towards her:</b> (1) <b>exhausted, until:</b> (0/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>family and children, to:</b> (3/6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; child (156)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>friends, even to his best:</b> (1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>husband, to:</b> (1/4) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; family (214)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>imaginary persons, at:</b> (1)	<b>ABUSIVE, insulting (cont.)</b> <b>indecent language, in puerperal mania:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Insanity, madness; delivery, parturition; after, puerperal (23)</li> </ul> <b>passers-by:</b> (2) <b>scolds until the lips are blue and eyes stare and she faints:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Faintness, fainting, with (35)</li> <li>Face; bluish; lips (79)</li> <li>Generalities; faintness, fainting; blueness of face, with (5)</li> <li>Generalities; faintness, fainting; scolding, from (1)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>snub one who differed from him, desire to:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>wife, to</b> <b>children, and:</b> (0/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; child (156)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> </ul> <b>in front of children or vice versa:</b> (0/6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; family (214)</li> <li>Mirill's themes; offensive (200)</li> <li>Psychological themes; aggression (481)</li> </ul> <b>ACCEPTANCE</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Appreciation, desires (17)</li> <li>Tranquility, serenity, calmness; reconciling, fate, to (6)</li> <li>Yielding disposition (38)</li> <li>Yielding disposition; no, cannot say, complies (6)</li> </ul>	<b>ACCOUNTS, makes mistakes in</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Mistakes, making; calculating, in (8)</li> </ul> <b>ACCUSATIONS, unjust, agg.:</b> (3/8) <ul style="list-style-type: none"> <li>Injustice, cannot support (27)</li> </ul> <b>ACRIMONIOUS</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Dwells; events, on past disagreeable (48)</li> </ul> <b>ACT for herself, no longer wishes to, in nervous debility:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Dependence (15)</li> <li>Will; loss of (35)</li> </ul> <b>ACTIONS</b> <b>absent, as if</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Absent-mindedness (126)</li> </ul> <b>foolish</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Foolish behavior (57)</li> </ul> <b>insane</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Insanity, madness (133)</li> </ul> <b>ludicrous</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Foolish behavior (57)</li> </ul> <b>masculine:</b> (0/1) <b>ACTIVITY:</b> (102/292) <ul style="list-style-type: none"> <li>General (1251)</li> <li>Bed; aversion to (4)</li> <li>Boyanacy (21)</li> <li>Busy (59)</li> <li>Concentration; active (36)</li> <li>Enterprising (5)</li> <li>Exercise, exertion; amel. (4)</li> <li>Fancies; exaltation of (75)</li> <li>Hurry, haste (131)</li> <li>Ideas; many, too, abundant (71)</li> <li>Industrious, mania for work (120)</li> <li>Intellectual (35)</li> <li>Memory; active (30)</li> <li>Precision of mind increased (9)</li> </ul>

すべてのレメディーを表示します。

ABUSIVE	MIND	MIND	ABUSIVE
<b>ABUSIVE, insulting:</b> (124) <ul style="list-style-type: none"> <li>General (1769)</li> <li>Answer, answering, answers; offensive (1)</li> <li>Contemptuous (119)</li> <li>Cursing, swearing, desires (141)</li> <li>Insolence, impertinence (51)</li> <li>Nipping at everyone (1)</li> <li>Quarrelsomeness, scolding (284)</li> <li>Rudeness (92)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> <li>Psychological themes; aggression (975)</li> </ul> <b>forenoon:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Forenoon (118)</li> </ul> <b>evening:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Evening; egg (436)</li> </ul> <b>acts, after indecent:</b> (1) <b>angry, without being:</b> (2) <b>crying, with:</b> (1) <b>drunkards, in:</b> (3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Alcoholism, dipsomania; egg; ailments from (63)</li> </ul> <b>fever, during</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever; during (327)</li> </ul> <b>intermittent:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever; during (327)</li> <li>Fever, heat, intermittent, malarial (66)</li> </ul> <b>typhoid:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Fever, heat, continued, typhoid (251)</li> </ul> <b>irritability, with:</b> (3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Irritability (979)</li> </ul> <b>jealousy, out of:</b> (3/3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Jealousy (157)</li> </ul>	<b>ABUSIVE, insulting (cont.)</b> <b>menses, before:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Menses; before (224)</li> </ul> <b>molestation, after:</b> (1) <b>mamma molested:</b> (1) <b>opposition, from:</b> (3) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>pain, with:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Cursing, swearing, desires; pains, at (6)</li> </ul> <b>associates, to:</b> (1) <b>calling names and scolding, irritation agg:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>cares not what she says:</b> (1) <b>children insult parents:</b> (11) <ul style="list-style-type: none"> <li>Children; complaints in (381)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> <li>Psychological themes; aggression (975)</li> </ul> <b>children, towards her:</b> (1) <b>exhausted, until:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>family and children, to:</b> (6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; child (436)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>friends, even to his best:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>husband, to:</b> (4) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; family (553)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>imaginary persons, at:</b> (1)	<b>ABUSIVE, insulting (cont.)</b> <b>indecent language, in puerperal mania:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Insanity, madness; delivery, parturition; after, puerperal (39)</li> </ul> <b>passers-by:</b> (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>Face; bluish; lips (159)</li> </ul> <b>scolds until the lips are blue and eyes stare and she faints:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Faintness, fainting, with (81)</li> <li>Face; bluish; lips (159)</li> <li>Generalities; faintness, fainting; blueness of face, with (10)</li> <li>Generalities; faintness, fainting; scolding, from (1)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>snub one who differed from him, desire to:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>wife, to</b> <b>children, and:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; child (436)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> </ul> <b>in front of children or vice versa:</b> (6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mirill's themes; family (553)</li> <li>Mirill's themes; offensive (458)</li> <li>Psychological themes; aggression (975)</li> </ul> <b>ACCEPTANCE</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Appreciation, desires (109)</li> <li>Tranquility, serenity, calmness; reconciling, fate, to (23)</li> <li>Yielding disposition (109)</li> <li>Yielding disposition; no, cannot say, complies (30)</li> </ul>	<b>ACCOUNTS, makes mistakes in</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Mistakes, making; calculating, in (37)</li> </ul> <b>ACCUSATIONS, unjust, agg.:</b> (6) <ul style="list-style-type: none"> <li>Injustice, cannot support (49)</li> </ul> <b>ACRIMONIOUS</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Dwells; events, on past disagreeable (158)</li> </ul> <b>ACT for herself, no longer wishes to, in nervous debility:</b> (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Dependence (81)</li> <li>Will; loss of (108)</li> </ul> <b>ACTIONS</b> <b>absent, as if</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Absent-mindedness (332)</li> </ul> <b>foolish</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Foolish behavior (160)</li> </ul> <b>insane</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Insanity, madness (262)</li> </ul> <b>ludicrous</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Foolish behavior (160)</li> </ul> <b>masculine:</b> (1) <b>ACTIVITY:</b> (292) <ul style="list-style-type: none"> <li>General (1769)</li> <li>Bed; aversion to (23)</li> <li>Boyanacy (50)</li> <li>Busy (158)</li> <li>Concentration; active (145)</li> <li>Enterprising (5)</li> <li>Exercise, exertion; amel. (23)</li> <li>Fancies; exaltation of (152)</li> <li>Hurry, haste (322)</li> <li>Ideas; many, too, abundant (162)</li> <li>Industrious, mania for work (329)</li> <li>Intellectual (113)</li> <li>Memory; active (132)</li> </ul>

## 文字サイズ

文字を小さくしたり、大きくしたりすることができます。(ポップアップメニューオプションテキストを縮小, ポップアップメニューオプション標準サイズ, ポップアップメニューオプションテキストの拡大).

iPadでは、ピンチ操作で文字を小さくしたり大きくしたりすることができます。画面上に2本の指を置き、互いに遠ざけたり近づけたりすると、文字サイズを変更できます。

## ナビゲーション

ボタン	ジェスチャー	アクション
	上にスワイプする。	前のループリック
	下にスワイプする。	次のループリック
⇄	2本の指を上へスワイプする。	前回の主なルビ。
⇄	2本指を下へスワイプする。	次の主なルビ。
←	右へスワイプする。	前のページへ
→	左へスワイプする。	次のページ
⇄	2本の指を右へスワイプする。	前の章へ
⇄	2本指を左へスワイプする。	次の章へ

◀		歴史をさかのぼる。 他のループリックを参照した後に、元の場所に戻るために使用します。
▶		歴史を飛び越える。 前のオプションと組み合わせて使用します。この2つは、ウェブブラウザでよく使われるキーのようなもので、ウェブページを前後に移動するために使 用します。

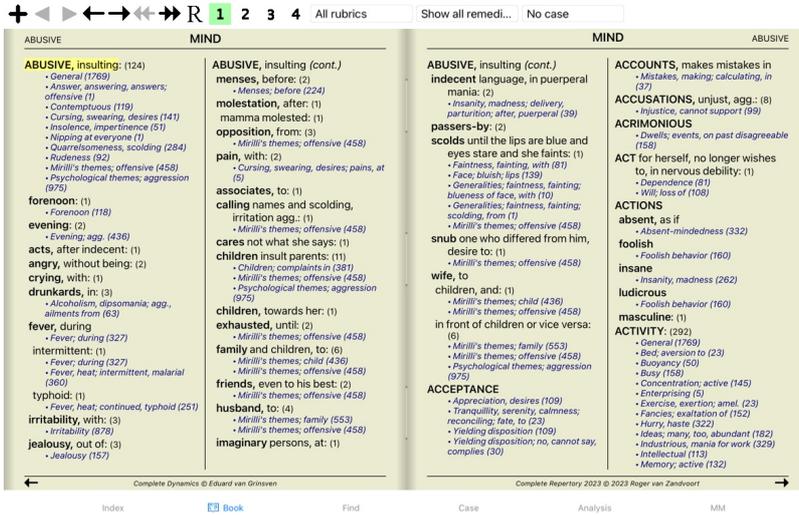
## ループリックをクリックボードにコピーする

ループリックをクリックボードにコピーして、ワープロなどの他のアプリケーションに貼り付けると便利な場合があります。(ポップアップメニューオプションコピー・ルブリク/コピー (レメディを除く)、ポップアップメニューオプションコピー・ルブリク/コピー (ルブリクとレメディ))。

## 言語選択

プログラムのエディションとライセンスによっては、Complete Repertoryのいくつかの言語オプションが利用できる場合があります。使用可能な言語オプションは、メニューまたはボタンバーから選択することができます。(ポップアップメニューオプション言語/英語) (フラッグボタン、☐)

Practitioner 版では、第二言語を選択して (オプションはライセンスに依存)、ループリックのテキストを別の言語で表示することができます。例えばフランス語。(ポップアップメニューオプション言語/大体言語: フランス語)



## お気に入りのループリック

あるループリックは重要だが、他のループリックはそれほど重要でないと考えられるかもしれない。これは特に、Find モジュールを使ってループリックを探す場合に当てはまります。自分にとって重要なループリックを特に強調するために、お気に入りマークを付けることができます。

ループリックをお気に入りとしてマークするには、ループリックをクリックし、マークを付けます。(ポップアップメニューオプションルブリクはお気に入りです)

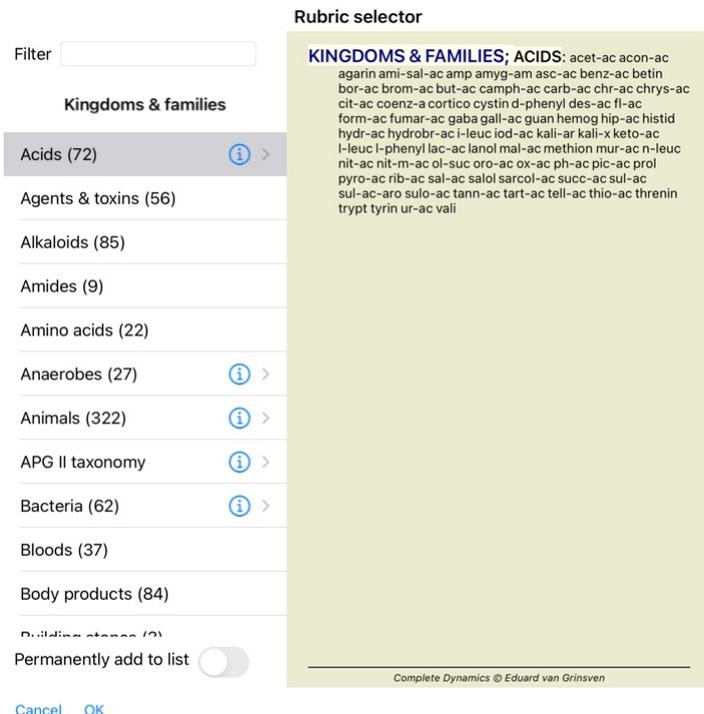
お気に入りとしてマークされたルビは、下線が引かれます。

任意のループリックをお気に入りとしてマークすると、Find モジュールに追加フィールドが表示され、お気に入りループリックのみに検索を限定することができます。

## レメディフィルター

表示されるレメディを制限することが可能です。ツールバーには、レメディのグループを選択するためのオプションが用意されています。

よく使われるグループ (鉱物、植物、動物、ノゾード) があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプションその他... を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム & ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。



フィルターオプションを使用して、適切なレメディグループを素早く見つけることができます。

Filter

**Kingdoms & families**

- Australian funnelweb spiders (1)
- Burrowing spiders (1)
- Cellar spiders (1)
- Daddylongleg spiders (1)
- Funnel web spiders (3)
- Hunting spiders (10)
- Jumping spiders (2)
- Orb web spiders (2)
- Recluse spiders (3)
- Sand recluse spiders (2)
- Sixeyed sicariid spiders (5)
- Spiders (20)

Permanently add to list

Cancel OK

**Rubric selector**

**KINGDOMS & FAMILIES; TAXONOMY; common names; English; Australian funnelweb spiders: atra-r**

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

### ブックモジュール標準レパートリーフィルター

通常、Book モジュールには、Complete Repertory の全内容が表示されます。

標準的なフィルターがいくつか用意されています。メニューバー、またはページの端にあるポップアップメニューから選択することができます。(ポップアップメニューオプションブックで選択/ブックの選択完了)

コンプリート	フィルタリングなしで、すべてのレパートリーを表示します。
クラシック	古典的な作家のルビとレメディーだけを表示する。そのため、主なクラシック音楽のレパートリーに登場するルビや、1930年以前の書籍からのレメディーに限定しています。
信頼できる著者	George Vithoukasによると、最も信頼性が高いと思われる著者のみを表示する。
ケント・ルーブリック	レパートリーはケント社のレパートリーから派生したルーブリックに限定されます。
アレンズ・セラピー・ポケット・ブックに掲載されているルーブリック	レパートリーはAllen's Therapeutic Pocket Bookに由来するルーブリックに限定されます。

フィルターが選択されている場合、その名前がレパートリーブックレイアウトのヘッダーに表示されます。こうすることで、どのレパートリー・オプションを使用しているかが一目瞭然になります。

注意: レパートリーフィルターは、Complete Repertory のコンテンツにのみ適用されます。あなたのライセンスが追加のレパートリーの使用をサポートしている場合、またはあなた自身が追加のレパートリー素材を作成した場合、フィルターはその素材には適用されません。

# モジュールの検索

## Find モジュールを開く

Find タブをクリックし、Find モジュールに移動します。

## フィールドの検索

画面の左側には、探したいものを記入することができます。(検索したい内容を入力する別の方法として、ウィンドウの下部にある強力な **検索フィールド** を使用することもできます。この単一のフィールドを使用して強力な検索を行う方法については、セクション **検索フィールド** を参照してください)。

### テキスト

検索するテキストフラグメントを入力します。

クシーズ	xyz で始まる任意の単語。
=xyz	Word はxyz のように正確に入力する必要があります。
*クシーズ	Word は、そのテキストのどこかにxyz を含んでいます。
「エーピーシーエックスワイジー	テキストの組み合わせ abc の後にxyz が続く。
abc + def	abc AND def の両方のテキストが出現しなければならない。
abc+def	同上、スペースは省略可能です。
abcデフ	上記と同じ、ANDがデフォルトです。 (def の前には自動的に+が挿入されます。)
-エーピーシー	テキストabc は、本文中に存在してはならない。 これは、上記のように「=」「*」「'''」と組み合わせることができます。 例 -モーニング -*** -「ベッド上
abc / def	abc OR def のいずれかが必要です (スペースは任意)。
これらの組み合わせは可能です。例	
四・八時	(4 OR 8), ANDpm.
午後4時/8時	上記と同じで、順番は重要ではありません。
「朝起き	シーケンスrising from bed, ANDmorning.
恐怖 / 不安 群衆 / 人	(恐怖 OR 不安) AND (群衆 OR 人々). (群衆の前に自動的に+が挿入されます)

### レメディ

検索するレメディの略語を入力します。フィールドの右側にあるQボタンを押すと、検索ウィンドウが表示され、レメディをインタラクティブに選択することができるので、略語を暗記していない場合に便利です。

セブ	Remedysep
sep.	上記と同様、ドット表記も可能ですが、ここでは不要です (Find フィールドでは必要です)。
-セブ	Remedysepはループリックに存在してはならない。
sep / nat-m	いずれかの救済措置sep OR nat-m
セパレートナットエム	上記と同じ、ORがデフォルトです。 (nat-m の前に / が自動的に挿入されます)
sep/staph+nat-m/mag-m	(sep OR staph) AND (nat-m OR mag-m)
sep. staph.+ nat-m. mag-m.	同上(staph の前とmag-m の前に / が自動的に挿入されます)

### Min. グレード

レメディの最小グレードを入力します (1~4)。

### 最小ループリックサイズ

ループリックの救済措置の最小数を入力する。

### 最大ループリックサイズ

ループリックの救済措置の最大数を入力します。

### 完全な症状

完全な症状に限定して検索します。  
完全な症状とは、場所、感覚、モダリティまたは随伴物から構成される症状のことである。  
このオプションは、Complete Repertoryで検索するときのみ使用します。他のレポートには、一般的にこのような情報は含まれていません。

ループリックの種類	フィールドの右側にある <b>Q</b> ボタンを押すと、タイム、サイド、ロケーションなどのループリックタイプをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。
お使いのライセンスが追加レパートリーの使用をサポートしている場合、追加レパートリーには、Times, Sides, Location などのルビが付けられていないことが多いのでご注意ください。ここで選択したものは、Complete Repertory のように、このために適切に準備されたレパートリーにのみ適用することができます。	
章立て	フィールドの右端付近にある <b>Q</b> ボタンを押すと、チャプターをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。

検索条件を入力すると自動的に検索が開始されるので、ボタンを押す必要はありません。

なお、テキストの場合、複数のフラグメントのデフォルトはANDですが、レメデイの場合はORになります。これは、複数のテキストを入力する場合は検索結果を限定することが多いのに対し、複数のレメデイを入力する場合は鑑別診断を行うことが多いからである。

## 検索結果

iPadでは、フィールドへの入力が終わると同時に検索が開始されます。オンスクリーンキーボードで入力する場合は、まずそれを非表示にする必要があります。外付けキーボードを使用している場合は、Enterキーを押してください。

検索要求の結果は、ウィンドウの右側に表示されます。詳細度は、検索された内容によって異なります。レメデイが検索された場合、選択されたレメデイが検索結果に含まれます。テキストのみを検索した場合は、レメデイは表示されません。要するに、検索結果は、要求されたものに焦点を当て、要求されない細部には焦点を当てないということです。

検索結果エリアは、Book モジュールと多くの類似点があります。ナビゲーションは、同じキーボード、マウス、ボタンバー、またはメニュー機能で行います。また、ウィンドウの大きさに合わせて自動的にレイアウトが調整されます。

Find モジュールでは、レメデイの表示はやや小さめのルビに限定されています。レメデイが多いルビは、レメデイの数だけ表示されます。

**Book** モジュールのループリックにジャンプします。

Book モジュールのナビゲーションオプションに加え、検索結果では、ループリックをマウスでダブルクリックするだけで、ブック内のループリックに直接ジャンプするオプションが用意されています。

## Findモジュールの鑑別診断

Find モジュールでは、Differential Diagnosis が、見つかったすべてのループリックについて、分析に似た関連する改善策をリストアップして表示します。(ツールバーボタン , ポップアップメニュー オプション **レメデイ / レメデイ比較表示**)

この例では、痙攣時にを探した後、:

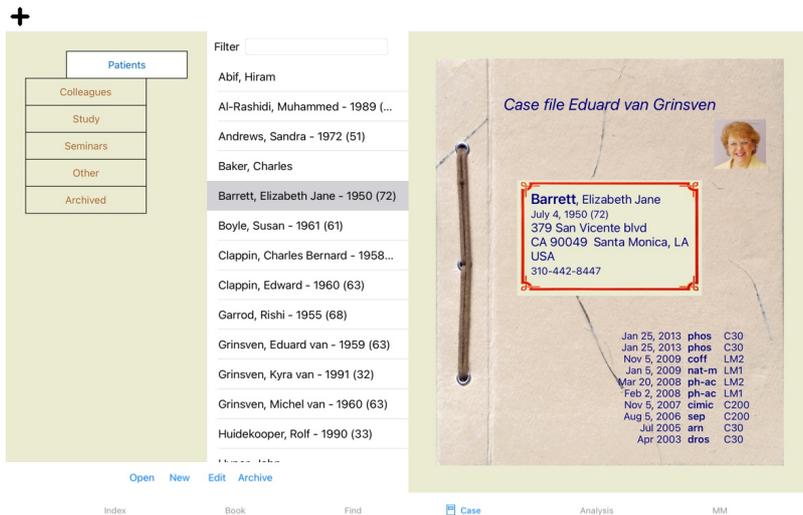
<p><b>MIND</b></p> <p>ACTIVITY; aversion to activity around her, during convulsions: (1)</p> <p>ANGER; convulsions; during epileptic: (1)</p> <p>ANXIETY; convulsions; during: (27)</p> <p>ANXIETY; heart region; convulsions, during: (3)</p> <p>ANXIETY; heart region; convulsions, during; epileptic: (1)</p> <p>BARKING; convulsions; during: (4)</p> <p>BITING; convulsions, during: (32)</p> <p>CLINGING; children, of; convulsions, during: (1)</p> <p>COMPANY; aversion to; convulsions, during epileptic: (1)</p> <p>CONFUSION of mind; convulsions; during: (18)</p> <p>CONFUSION of mind; convulsions; during; epileptic: (6)</p> <p>CONFUSION of mind; convulsions; during; puerperal: (1)</p> <p>CONVULSIONS; during: (173)</p> <p>CONVULSIONS; during and after: (44)</p> <p>CURSING, swearing, desires; convulsions, during: (2)</p> <p>CUT, mutilate, slit, desire to; oneself; convulsions, during: (1)</p> <p>DANCE, desires to; convulsions, during: (1)</p> <p>DEATH; desires; convulsions, during: (1)</p> <p>DEATH; presentiment of; convulsions, spasms, during: (1)</p> <p>DELIRIUM; convulsions; during: (24)</p> <p>DELIRIUM; convulsions; during; epileptic: (8)</p> <p>DELIRIUM; convulsions; during; lead colic, in: (2)</p> <p>DELIRIUM; raging, raving; convulsions; during: (1)</p> <p>DELUSIONS, imaginations; convulsions; during: (10)</p> <p>DELUSIONS, imaginations; head; forehead is swelling suddenly, during headache, before convulsions: (1)</p> <p>DELUSIONS, imaginations; images, phantoms, sees; frightful; convulsions; during: (3)</p> <p>DELUSIONS, imaginations; man; huge, drunk, lies down beside her, begs him to retire; convulsions, during: (1)</p>	<p>cupr</p> <p>cic</p> <p>bell</p> <p>hyos</p> <p>op</p> <p>lach</p> <p>stram</p> <p>nux-v</p> <p>ign</p> <p>caust</p> <p>camph</p> <p>oena</p> <p>ars</p> <p>sec</p> <p>mosch</p> <p>calc</p> <p>cham</p> <p>absin</p> <p>sulph</p> <p>bulfo</p> <p>plb</p> <p>verat</p> <p>sil</p> <p>cina</p> <p>verat-v</p> <p>plat</p> <p>art-v</p> <p>lyc</p> <p>ip</p> <p>glon</p> <p>hydr-ac</p> <p>cocc</p> <p>merc</p> <p>sep</p> <p>zinc</p> <p>stry</p> <p>puls</p> <p>acon</p> <p>canth</p>
--	--

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2023 © 2023 Roger van Zandvoort →

## ケースモジュール

### Caseモジュールを開く

Case タブをクリックし、Case モジュールを表示します。



Caseモジュールでは、患者さんの症例ファイルの作成と整理、作成した処方箋の登録、分析の作成と整理が可能です。

Caseモジュールで作業することは、実際の事件簿を扱うのと同じです。

ケースは、実際の生活でケースファイルをファイルキャビネットや引き出しごとに整理するように、グループごとに整理されています。まず、作業したいグループ（複数可）を選択します。選択されたグループの症例は、患者情報の要約のみがリストで表示されます。名前と生年。リストの下にあるFilterフィールドに患者名の1つまたは複数のパーツを入力することで、症例をフィルタリングすることができます。

リストで案件を選択すると、画面右側に案件ファイルが表示されます。

次に、ケースファイルを開くこととなりますが、まず、このケース管理の部分について少し詳しく説明します。

### グループを選択し、独自のグループを作成する

グループセクターは、一種のドロワーキャビネットと見ることができます。



この写真では、Patientsの引き出しを開けたところです。

標準グループは

**患者様** 症例説明でPatientと表示され（詳細は後述）、あなたが著者となっているすべての症例ファイルです。

**同僚** ケースの説明でPatientと記され、他の誰かが著者となっているすべてのケースファイル。

**研究内容** Studyと表示されているすべてのケースファイル。これは、あなたの患者さんとは直接関係なく、あなたの個人的な勉強のためだけの症例です。

**セミナー** セミナーと表示されたすべてのケースファイル。セミナーや研修で発生するケースは、このグループに作成します。

**その他** 他のどのグループにも属さないすべてのケース。

**アーカイブ** アーカイブしているすべてのケース。

**ス** アーカイブされたケースは、他のどのグループにも表示されなくなります。

1つまたは複数の引き出しを同時に開けることができます。引き出しをクリックするだけで、開いたり閉じたりすることができます。引き出しの一つをダブルクリックすると、その引き出しが開き、同時に他の引き出しが閉じます。



2つの引き出しを開けたところ。

事例のあるリストには、「Study」または「Seminars」と表示されているすべての事例が表示されます。

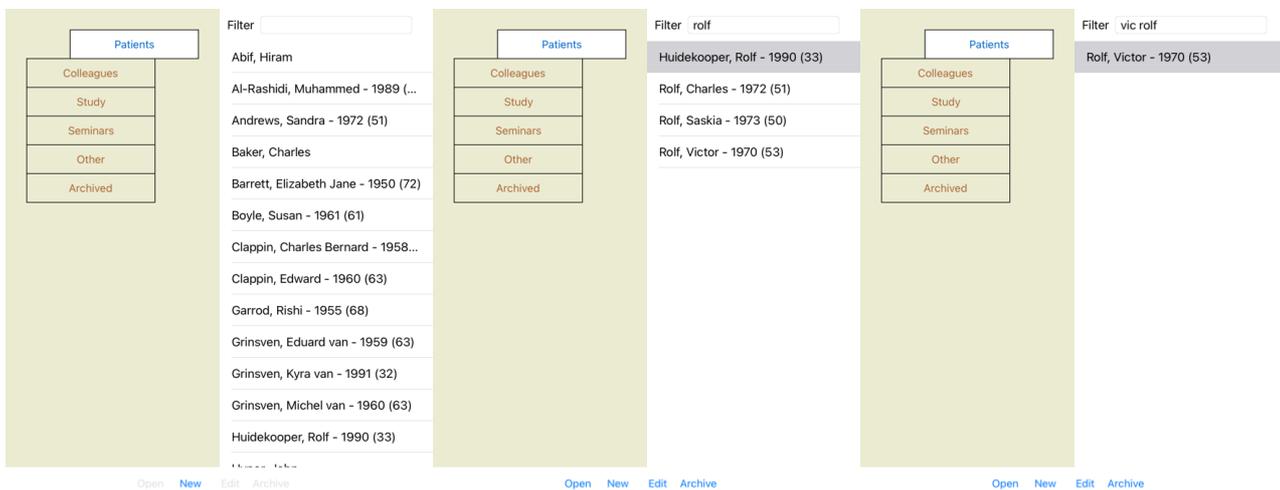
もちろん、これらのグループが個人の希望と一致するわけではありません。独自のグループで新しいドロワーを作るのも簡単です。案件情報を編集する際に、案件をどのグループに所属させるかを指定することができます。標準の3つのグループ「Patient」「Study」「Seminar」を使用できますが、独自のグループ名を入力することもできます。新しいドロワーは自動的にリストに追加されます。



ドロワー *Family, Teaching and Workgroup* は自動的にリストに追加されますが、これは一部のケースでこれらのグループ名がケース情報内で使用されていたためです。

### 適切なケースファイルの選択

選択されたグループまたはグループに一致するすべての症例がリストに表示されます。*Filter* フィールドに何らかのテキストを記入すると、リストがフィルタテキストに一致するケースに制限されます。フィルタの使用例です。



このフィルターには、適切なケースを選択するための非常に強力なオプションがあります。これは、*Find* フィールドがテキストやレメデイに使用するのと同じフィルタリング基準を使用します。*Case* モジュールでは、*text* はリストに表示されている名前、*remedies* は患者に処方された（または処方されていない）レメデイです。詳しくは、'検索'フィールドをご参照ください。

例 *John* または *Joseph* という名前の患者を探すには、*nux-v* は処方されているが、*sulph* は処方されていない、とタイプするだけです。  
 ジョン / ジョセフ *NUX-V* -*sulph*.  
 (レメデイ名後のドットにご注目！)。

### ケースファイルの概要

案件を選択すると、案件情報の一部が右側に描画されます。などの情報があります。

- 本件の著者名
- 患者情報（氏名、住所、生年月日）。
- 写真（ある場合）。
- 直近の処方箋のリスト。

例



### ケースファイルの作成

*New* ボタンをクリックすると、新しいケースファイルを作成することができます。ダイアログが表示され、患者情報や症例背景を入力することができます。

### ケースデータの編集

*Patient* セクションでは、患者について保存したいすべての個人情報を記入できます。写真 ボタンを押して、写真を撮る。写真は自動的にリサイズされます。クリア ボタンで、既存の写真を削除します。

患者の誕生日、誕生月、誕生日が不明な場合は、単に0と記入してください。正確な生年月日が不明で、患者から現在の年齢しか提供されない場合は、「生年」の欄に年齢を入力することができます。

患者さんのメールアドレスを記入すれば、簡単にメールを送ることができます。

### Case information

Family name

First name

Middle name

Initials

Gender

Birth year  - +

Birth month  - +

Birth day  - +

Photo 

Photo Clear Rotate

Personal info Address info Family info Case groups Case background

Cancel OK

症例セクションでは、患者自身とは関係のない、症例の背景情報を入力することができます。  
Case groups グループでは、標準のグループから1つを選択するか、スペースまたはセミコロンで区切られた独自のグループ名を記入することができます。  
ケース背景グループは、このケースがセミナーや雑誌などから発信されており、ケースの出所を覚えておきたい場合に便利です。

### Case information

Patient

Study

Seminar

Other groups

Personal info Address info Family info Case groups Case background

Cancel OK

### ケースを開く

既存のケースファイルをリストで選択し、Open ボタンをクリックすると、そのファイルを開くことができます。  
また、リスト内のエントリーをダブルクリックすることもできます。  
新しいケースを作成すると、そのケースは自動的に開かれます。

ケースファイルを開くと、実際のケースファイル内にあるような内容も表示されます。

- 患者情報を記載した紙
- 処方箋のある用紙です。
- ケースファイルに含まれるすべての分析結果の概要を記載したフォーム。
- 分析ごとに1枚の紙を用意する。
- 事件の背景を書いた紙1枚

例

+

**Patient information**

Name Barrett, Elizabeth Jane (E.J.M.)  
 Gender Female  
 Birth date July 4, 1950 (72)  
 Address 379 San Vicente Blvd  
 CA 90049 Santa Monica, LA  
 USA  
 Tel. home 310-442-8447  
 Tel. office  
 Tel. mobile  
 Email lisabarret50@gmail.com  
 Spouse Bill  
 Children Jane, Peter

**Case author:** Eduard van Grinsven

**Case background information:**  
 Complete Dynamics documentation centre.  
 This is an example case, for use in the documentation.  
 The information entered here will appear on the case background sheet in the opened case file.

Date	Rx	Pot.	Notes
Jan 25, 2013	phos	C30	
Jan 25, 2013	phos	C30	
Nov 5, 2009	coff	LM2	
Jan 5, 2009	nat-m	LM1	
Mar 20, 2008	ph-ac	LM2	Only when grief reappears.
Feb 2, 2008	ph-ac	LM1	
Nov 5, 2007	clmic	C200	
Aug 5, 2006	sep	C200	
Jul 2005	arn	C30	Repeat until bruises gone.
Apr 2003	dros	C30	

**Available analyses**

Date	Description
Jan 5, 2009	Grief remains, eczema from youth gets back
Feb 2, 2008	Grief after death mother
Nov 3, 2007	
Aug 5, 2006	

Index Book Find Case Analysis MM

開いている案件を閉じるには、左上の小さな矢印◀をクリックします。(ポップアップメニューオプション 症例を閉じる).

### 処方箋の管理

新しい処方箋を追加するには、処方箋の上部にある空の行をダブルクリックします。(ポップアップメニューオプション 処方箋の追加).  
 新しいダイアログが表示され、処方箋に関する情報を入力することができます。

**Prescription**

Remedy

Phosphoricum acidum

Potency

Reactions

Instructions

Notes

Year 2023

Month 3

Day 3

The checkbox For future use can be used to indicate that you have not prescribed the remedy for immediate use, but have already given it to the patient for possible use in the future.

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。  
 処方箋を削除するには、リストで選択し、次に処方箋を削除します。(ポップアップメニューオプション 処方箋の削除).  
 リスト内のエントリーをダブルクリックすると、処方箋を編集することができます。(ポップアップメニューオプション 処方箋の修正).

### 分析の管理

メニューのオプションで新しい分析を追加するか、分析インデックスの上部にある空の行をダブルクリックすることができます。(ポップアップメニューオプション 分析を付け加えて).  
 新しいダイアログが表示され、解析に関する情報を入力することができます。

## Analysis

Description

Diagnosis

Notes

Year 2023    
Month 3    
Day 3

Cancel OK

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。

一覧で選択し、「Delete analysis」で削除します。(ポップアップメニューオプション分析を削除する)。  
リスト内のエントリーをダブルクリックすると、分析結果を編集することができます。(ポップアップメニューオプション分析を編集...)  
解析をコピーして、新しい解析の基礎にする場合は、解析の複製を使用します。(ポップアップメニューオプション分析を複製する)。  
解析を別のケースに移動するには、メニューの「解析をケースに移動する」を使用します。(ポップアップメニューオプション分析を症例に移す)。

リスト内の解析の一つをクリックすると、この解析がAnalysis モジュールで使用される解析になります(セクションAnalysisを参照)。

### 印刷

自分のケース、またはその一部を印刷することができます。(ポップアップメニューオプションプリントする)。  
ケースの印刷は、ケースを開いた後に行うことができます。

印刷したいものを選択するダイアログが表示されます。

**Print options**

What to print?

Case cover

Analyses

Analysis details

Rubrics and remedies

Printing options

Color

High resolution

Cancel OK

ケースカバー このオプションをオンにすると、印刷の最初のページに患者情報と処方箋の概要が表示されます。

現状分析 現在選択されている分析結果のみを、Analysisモジュールで使用されている設定で印刷したい場合は、このオプションを選択します。

分析なし 分析結果を印刷しない(ケースカバーのみ)場合は、このオプションを選択します。

分析内容 このオプションをチェックすると、各分析に入力した情報(診断、メモ)が印刷されます。

ループリックとレメディー このオプションをチェックすると、すべての分析プリントに、分析に使用されたループリックのすべての救済措置の概要が含まれるようになります。著作権の関係上、ルビは最大20枚までしか印刷されませんので、ご了承ください。20枚以上のルビを印刷した場合、救済措置の多いルビは救済措置が記載されません。

カラー カラーで印刷する。チェックを入れないと、モノクロプリンターに最適化された印刷が行われます。

HTMLファイルへの書き込み HTMLファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。出力の一部を他の文書にコピーする場合などに便利な形式です。

### 複数のケースの概要を印刷

ケースを開いていない場合は、複数のケースの概要を印刷できます。(ポップアップメニューオプションプリントする)。  
例えば、あなたの患者を監視する同僚のためにリストを作成したい場合、これは実用的です。そして、過去6ヶ月間に診た患者の名前と生年月日だけで、治療薬の処方リストを作成することができます。  
印刷ダイアログのオプションについては、これ以上説明する必要はありません。

### パスワードによる保護

外出先から患者さんの情報を保護することができます。

このため、パスワードを設定することができます。

パスワードが設定されている場合、ケースモジュールに新しいボタン  が表示されます。  
そのボタンを押すと、すぐにケースモジュールがロックされ、開くにはパスワードの入力が必要です。

また、しばらく使わないでいると、自動的に案件情報をロックすることも可能です。

自動ロックするまでの時間は、*Preferences* の設定で、自分で設定することができます。  
0分に設定すると、自動ロックは行われません。

パスワードの設定には十分な注意が必要です。あなた以外に、あなたのパスワードを知っている人はいません。パスワードを忘れたら、家の鍵を失くしたのと同じことで、もうアクセスできない。

## アーカイブと削除

### アーカイブ事例

症例一覧に表示されなくなった症例は、アーカイブすることができます。  
ケースをアーカイブすると、グループ *Archived* に表示されます。

アーカイブされている間でも、ケースを開くことはできます。ケースに何らかの変更を加えると、そのケースは自動的に *Archived* グループから削除され、他のアクティブなケースと一緒に戻されます。

複数の古いケースをアーカイブすることができます。(ポップアップメニューオプション *古いケースをアーカイブする*)。

開いたダイアログで、月数を指定することができます。指定された月数の間、変更されていないすべてのケースをリストで表示します。次に、リストで選択されているすべてのケースをアーカイブすることができます。

### ケースファイルの削除

ケースファイルを保管する必要がなくなった場合は、削除することができます。  
ケースは、アーカイブされた後にも削除することができます。

また、アーカイブされた古いケースを自動的に削除させることも可能です。*Preferences* の設定にそのためのオプションがあります。デフォルトでは、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

### 自動バックアップ

意図せずケースファイルを削除してしまった場合、バックアップから復元することができます。

バックアップは自動的に行われます。

- この1ヶ月間、毎日です。
- 毎月、この1年間。
- 1年経過すると、バックアップは永久に削除されます。
- なお、バックアップはお客様のコンピュータのローカルに保存されます。

## クラウドサーバー

### はじめに

診療に複数のパソコンを使用している場合、それらのパソコン間で症例情報を同期させておくといでしょう。  
これにより、どこにいても常に最新の案件情報を入力することができます。外出先でも、スマホやタブレットで。

当社のクラウドサーバーは、ケースを自動的に同期させるための柔軟で簡単な仕組みを提供します。

他の多くのクラウドソリューションとは異なり、*Complete Dynamics* は、インターネット接続の有無にかかわらず使用することができます。  
インターネットに接続されていない場合、すべてのケースはあなたのデバイスにローカルに保存されます。あなたが行ったすべての変更は、ローカルに保存されます。  
インターネットに接続できる環境であれば、クラウドサーバー経由で自動的にケースを同期させることができます。

インターネットに接続していない状態で、別の端末でケースに変更を加えても、何も変わりません。クラウドサーバーへの接続が可能になると、異なるデバイスで行ったすべての変更を統合することができます。同じ案件を担当していたとしても

### クラウドサーバーは何をするところですか?

クラウドサーバーの目的は、このサービスを利用するすべてのデバイスで、お客様のケースを同一に保つことです。

1つのデバイスで追加したものは、他のデバイスでも追加されます。  
1つのデバイスで変更したことは、他のデバイスでも変更されます。  
1台のデバイスで削除したものは、他のデバイスでも削除されます。  
ケースをアーカイブすることは、他のデバイスでもアーカイブされることを意味します。

### クラウドサーバーを利用するメリット

- どのようなデバイスを使用しても、自動同期後にあなたのケースが最新の状態になります。
- ライセンスに含まれるすべてのデバイスで動作します。
- インターネットに接続していない状態でも作業が可能です。
- インターネットが利用できるようになれば、自動的に同期が行われます。
- パソコンが壊れたときのために、常にケースのコピーを用意しています。

### クラウドサーバーは、どのようなデバイスで利用すればよいのでしょうか?

これはあなた自身の選択です。

パソコン1台で利用する場合、クラウドサーバーを利用することでケースのコピーを確保することができます。万が一、パソコンが壊れても、新しいパソコンに自動的にケースを転送することができます。

2台以上のデバイスを使用する場合、クラウドサーバーは1台のデバイスで行った変更を他のデバイスに適用することができます。

クラウドサーバーを利用するかどうかは、利用するデバイスごとに決めることができます。例えば、自宅やオフィスのパソコンにはクラウドサーバーを使うが、スマホには使わないということも可能です。

## セキュリティとプライバシー

私たちは、セキュリティとプライバシーが非常に重要であることを認識しています。

### セキュリティ

あなたの大切なデータを守ります。

- クラウドサーバーへのアクセスは、お客様名義の有効なライセンスがあるデバイスからのみ可能です。
- 他のデバイスがあなたのケースにアクセスすることはありません。
- あなただけが知っている特別なパスワードが必要です。
- サーバーとの接続は暗号化されています。

### プライバシー

お客様は、当社のクラウドサーバーを利用する義務を負いません。患者さんの情報を遠隔地のコンピュータのどこかに保存しておきたくないという気持ちは、よくわかります。  
クラウドサーバーを利用するかどうかは、お客様の判断にお任せします。

私たちは、あなたとあなたの患者さんのプライバシーを十分に尊重します。  
お客様のデータを使用したり、加工したりすることは一切ありません。クラウドサーバーが行うのは、あなたのデバイスとの間のコピーだけです。

### クラウドサーバーのセットアップ

クラウドサーバーでデバイスを使い始めるには、まず、アクティベーションを行う必要があります。  
アクティベーションは、*Preferences*, *sectionCase* で行います。ここで、*Use Cloud Server* というオプションを選択することができます。

初めてクラウドサーバーを起動する場合は、自動的にケースデータを保護するための暗証番号の作成が案内されます。この暗証番号は、後でいつでも変更できます。  
クラウドPINは、他のデバイスをアクティブにする際に必要になりますので、忘れないようにしましょう。

### クラウドサーバーの状態

*Case* モジュールのページ上部には、サーバーの接続状態を示すアイコンが表示されます。

- ☐クラウドサーバーが利用可能です。
- ☒コミュニケーション中。
- ☒インターネットに接続できない、またはサーバーが一時的にオフラインになっている。  
アイコンが表示されていない場合は、クラウドサーバーが未設定です。

アイコンをクリックすると、すぐに同期が実行されます。

### 制限事項

クラウドサーバーの目的は、あるデバイスで行われたすべての変更を、他のすべてのデバイスに適用することです。しかし、これは常に可能なことではありません。制限の内容を把握するのに役立ちます。

特にオフラインで作業している場合、クラウドサーバーへの接続が再確立する前に、同じ案件を別の端末で変更することが起こり得ます。通常であれば、ほとんど問題になることはないでしょう。

事件の情報は、いくつかの独立した要素で構成されています。

- 患者さんに関する情報です。
- 本件に関する情報です。
- それぞれの分析
- 各レメディの処方

これらの要素の1つを変更し、別のデバイスの別の要素に変更を加えることができます。しかし、例えば2つのデバイスで同じ解析を変更した場合、最後に変更したもののだけが保存されます。あるデバイスのある分析を、別のデバイスの別の分析に変更しても、問題はありません。あるいは、あるデバイスでレメディ処方を追加し、別のデバイスで別のレメディ処方を追加しても、問題はありません。

### バックアップ

クラウドサーバーに保存されている案件は、お客様の端末の案件をコピーしたものです。元データはお客様の端末にあります。

パソコンのバックアップは、常に自己責任で行ってください。

### ケースシェアリング

#### 同僚とケースを共有する

多くの場合、自分のケースや分析結果を同僚や学生、教師に渡したり、インターネットのフォーラムで発表したりしたいと思うかもしれません。Complete Dynamicsは、症例の全体または一部をファイルとしてエクスポートすることができます。このファイルを同僚に渡して、その人のパソコンに取り込むことができます。あなたの同僚は、このためにPractitioner Editionのライセンスを必要としません。無料のBrowser Editionでも、ファイルをインポートして見ることができます。また、症例共有は匿名で行うことができるため、患者さんとあなたのプライバシーを確保することができます。輸出入はどのように行われるのか、以下に説明します。まず、Case sharingのもう一つの重要な特徴について見ていきます。

#### 複数のコンピュータ間でケースを同期させる

手動同期は、クラウドサーバー経由の自動同期を使用しないことを選択した場合にのみ関連します。

ケース共有では、あるコンピュータから別のコンピュータへケースを持ち運ぶための2つの強力なオプションが用意されています。

最も簡単な方法は、一方のコンピュータで症例データベースの完全なコピーをエクスポートし、もう一方のコンピュータでそれをインポートすることです。これは、もう一方のコンピュータに保存されているすべてのケース情報を置き換えるものです。このオプションは、ケースデータベースのバックアップを定期的に作成する場合にも使用できます。

より高度な方法としては、1台のコンピュータで修正したケースだけをエクスポートし、2台目でインポートする方法があります。この場合、変更された情報だけがコピーされ、2台目のコンピュータのデータベースにマージされる。この強力な同期メカニズムは、両方のコンピュータでケースが変更された場合にも機能します。

#### iPadとPCの間でケースを同期させる

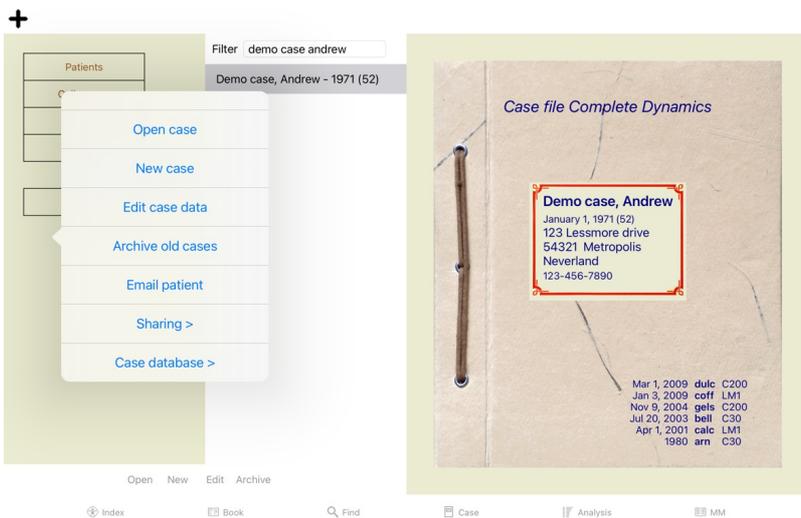
iPadとPC間のケース同期には、複数のPC間で同期するのと全く同じ仕組みが使われています。その違いは、エクスポートファイルのiPadとの移動の仕方にあります。

2台のPC間では、例えばUSBメモリを使ってファイルを転送することができます。iPadの場合、ファイルの転送はPCのiTunesアプリケーションを使用して行います。

iTunesでは、iPadのComplete Dynamicsとの間でファイルをコピーすることができます。

これを行うには、iTunesでiPadを選択し、「App」のセクションを開きます。Appsのリストの下に、Files sharingを許可するAppsのリストが表示されます。そのリストの中にComplete Dynamicsが表示されているはずです。Complete Dynamics Appをクリックして選択します。アプリの右側には、ファイルの追加や削除ができるエリアがあります。iPadで作成したケースエクスポートファイルはそこにあり、PCにコピーしてそこで取り込むことができます。PCで作成したエクスポートファイルをここに追加すると、iPadでインポートできるようになります。詳しくは、iTunesのヘルプセクションをご参照ください。

iPadでは、次のセクションで説明するオプションを含むポップアップメニューが、画面左側のCase モジュールで開くことができます。



#### 1つのケースをエクスポートする

1つのケースをエクスポートするには、ケースモジュールを開き、エクスポートするケースを選択します。次に、オプションのExport current case...を使用します。(ポップアップメニューオプション 症例通信 / 当面の症例をエクスポート...)。ダイアログが開き、エクスポートするケースの部分を選択することができます。

### Case Export options

Author information

Patient information

Case notes

Prescriptions

Analyses

- Jan 1, 2009-A simple analysis
- Jan 2, 2009-A simple analysis - with Groupi...
- Jan 3, 2009-A simple analysis - using Symp...
- Jan 4, 2009-An example of symptom and ru...
- Feb 1, 2009-Symptoms with many or few ru...
- Feb 1, 2009-Grouping example
- Mar 1, 2009-Simple classification example
- Jan 25, 2011-Bönninghausen style analysis
- Sep 1, 2015-Familv analysis

Password (optional)

All None Cancel OK

- 著者情報** このオプションをオフにすると、エクスポートに名前が含まれなくなります。
- 患者様へのご案内** このオプションをオフにすると、患者は匿名化されます。患者さんの性別と生年のみ使用します。  
このオプションをオンにすると、患者のすべての個人情報がエクスポートに含まれます。
- ケースノート** このオプションをオンにすると、案件の背景情報がエクスポートに含まれます。(事例背景、メモ、グループ)。
- 処方箋** このオプションをオンにすると、作成した処方箋がエクスポートに含まれます。
- 分析結果** ケース内のすべての分析について、エクスポートするかどうかを決定することができます。行をクリックすると、選択のオン/オフが切り替わります。All とNone のボタンを使って、すべての分析結果を選択するか、まったく選択しないかを簡単に選択することができます。
- パスワード** ここに値を入力すると、エクスポートファイルがパスワードで保護されます。それを取り込むためには、誰かがパスワードを知らなければならない。インターネット上で公開したい匿名性の高い情報を除き、共有する情報にはパスワードを設定することをお勧めします。

準備ができたなら、OK ボタンを押すと、任意のファイル名と保存先を開かれます。  
デフォルトのファイル名がすでに記入されていますが、好きな名前を選ぶことができます。

#### 1つの解析結果をエクスポートする

1つの分析をエクスポートするには、分析を含むケースを開き、エクスポートする分析を選択します。  
次に、メニューオプションのExport current analysis...を使用します。(ポップアップメニューオプション *症例通信 / 当面の分析をエクスポート...*).  
ダイアログが表示され、解析と一緒にエクスポートするケースの部分を選択することができます。

### Case Export options

Author information

Patient information

Case notes

Password (optional)

Cancel OK

各フィールドの意味については、上記の情報を参照してください。

#### 複数のケースをエクスポートする

複数の案件を1つのファイルにまとめて書き出すことができます。(ポップアップメニューオプション *症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*).

### Case Export options

The dialog box contains a tree view on the left with the following categories: Patients (selected), Colleagues, Study, Seminars, Other, and Archived. To the right is a list of patient names: Abif, Hiram; Al-Rashidi, Muhammed...; Andrews, Sandra - 1972...; Baker, Charles; Barrett, Elizabeth Jane -...; Boyle, Susan - 1961 (61); Clappin, Charles Bernar...; Clappin, Edward - 1960...; Garrod, Rishi - 1955 (68); Grinsven, Eduard van - 1...

Author information

Patient information

Case notes

Prescriptions

To protect the privacy, please use a password.

Password

Cancel OK

症例が並んだリストで、エクスポートしたい症例をクリックで選択します。

#### 事例や分析結果をインポートする

他の人から症例や解析のエクスポートファイルを渡された場合、メニューの「インポート」を使って簡単にインポートすることができます。(ポップアップメニューオプション *症例通信 / インポート...*)

インポートするファイルの入力を求められます。

ファイルを選択すると、そのファイルがケースデータベースに取り込まれます。パスワードで保護されているファイルの場合、最初にパスワードの入力が求められます。

インポートしたケースは、ファイルに著者名がある場合は、グループ *同僚* で見つけることができます。そうでない場合は、グループ *その他* で見つけることができます。ケースを開いた後、ケース情報を自分で簡単に変更したり、分析を他のケースに移動させたりすることができます。

#### 症例データベース全体のエクスポート

症例データベース全体をエクスポートした場合、お客様名で登録されたライセンスを持つコンピュータでのみインポートが可能です。

症例データベース全体をエクスポートするには、メニューオプションの「症例データベース全体をエクスポート...」を使用します。(ポップアップメニューオプション *症例通信 / 全ての症例データベースをエクスポート...*)

ダイアログが開き、このファイルを保護するためのパスワードを入力することができます (強く推奨します)。

### Case Export options

To protect the privacy, please use a password.

Password

Cancel OK

OK ボタンを押すと、ファイル名と保存場所を開かれます。ファイルを別のコンピュータに持っていき、そこで **Import** を行う。

#### 修正したケースをエクスポートする

修正した案件をエクスポートすることは、複数のコンピュータ間で案件情報を同期させる最も柔軟な方法です。

変更をエクスポートするには、メニュー オプションの [変更されたケースのエクスポート] を使用します。(ポップアップメニューオプション *症例通信 / 修正症例のエクスポート*)。ダイアログが表示され、同期するものを指定することができます。

## Case Export options

Last synchronisation

Start

3/3/23

9:46 AM

Number of selected cases 12

To protect the privacy, please use a password.

Password

Details Cancel OK

デフォルトでは、最後に同期をとった日付が記入されています。別の日時以降に変更されたものを同期させたい場合は、値を変更するだけです。エクスポートに含まれるケースの概要を知るには、[詳細](#) ボタンを押して、ケースとその最終修正時刻の一覧を取得します。

修正したケースをインポートする

修正した症例は、別のパソコンで取り込むことができます。(ポップアップメニューオプション [症例通信 / インポート...](#)). ファイルを選択すると、必要な同期動作の情報を表示するダイアログが開きます。

### Options for importing modified cases

New - Jan 5, 2014 - Holiday, Jimmy - 1942

Merge - Jan 6, 2014 - St.Clair, Bonnie - 1970

Replace - Jan 6, 2014 - Eastwood, Herny - 1992

New - Jan 6, 2014 - Baker, Charles - 1950

New - Jan 7, 2014 - Smarting, All - 1962

Merge - Jan 7, 2014 - Williams, Charita - 1970

Ignore - Jan 20, 2014 - Underwood, Sam - 2013

Ignore New Replace Merge Reset

Cancel OK

ここで重要なのは、一番左の欄です。このカラムは4つの異なる値を持つことができる。

**新規** このケースはローカルデータベースに存在しない。新たに作成されることになります。

**交換** ローカルデータベースではケースは変更されませんが、エクスポートファイルのバージョンが新しくなっています。新しい情報で上書きされます。

マージ筐体は2台のPCで改造しています。エクスポートファイルの情報は、ローカルデータベースの情報にマージされます。既存の情報は上書きされませんが、新しい情報がコピーされます。

**無視** このケースは、両方のコンピュータのいずれでも修正されていないようです。何もしていない。

リスト内のどのケースに対しても、アクションを修正することができます。いくつかのケースをクリックして選択し、**無視**、**新規**、**置換**、**結合**のいずれかのボタンを押します。ボタン **Reset** を押すと、すべてのアクションが元の設定に戻されます。

アクションが明示的に **New** に設定されている場合、類似の症例がすでにローカルデータベースに存在する場合でも、症例は新規症例としてコピーされます。インポート後、同じ名前のケースが2つ表示されるので、自分で確認することができます。通常、これは決して必要ではありません。オプション **Merge** は、いかなる情報も捨てません。

自動バックアップ

バックアップを容易にするため、プログラムは毎日一回、症例データベースの完全なエクスポートを自動的に作成します。これらのバックアップは過去7日間保存されます。これを使えば、プログラムが内部データベースをどこに保存しているか知らなくても、自分でバックアップを取ることができます。バックアップの場所や緊急時の復元方法について詳しくお知りになりたい場合は、サポート部門までお問い合わせください。

# 解析モジュール

## クイックスタート

せっかちなあなたのために...

解析に関するヘルプをお読みいただくと、より効率的に作業を進めることができますので、ぜひご覧ください。後で読んで、すぐにでも始めたいという方は、この要約を読めばすぐにでも始められるはずです。

### ケースから始めるか否か?

多くの場合、分析は患者さんに関連するものであり、後で参照するために保存しておくといふからです。このような場合、まずケースを作成するか、既存のケースを開いておく、分析結果が適切な場所に保存されるため、お勧めです。一度開いたケースには、簡単に新しい分析を追加することができます。ケースと分析の整理の仕方についての詳しい情報は、セクションケースモジュールをお読みください。

実際のケースと関係なく、簡単な分析を行いたい場合は、ケースを開いたり作成したりしないで、デフォルトのケースが自動的に作成され (Unnamed case)、分析結果がそこに保存されます。解析結果は、今日の目付でラベル付けされたそのケースで確認することができます。

### ループリックの追加

分析にループリックを追加するのは簡単です。まず、Book モジュールでループリックを選択します。明るい黄色色で表示されたループリックが選択されています。次に、ループリックをクリックしたままにして、ポップアップメニューを表示します。(ポップアップメニューオプションループリックを分析に追加)適切なループリックを見つけるには、Find モジュールが役に立ちます。

## 解析の作成

### Analysis モジュールを開く

Analysis タブをクリックし、Analysis モジュールに移動します。すでにケースを開き、分析を選択していると仮定すると、このような画面になります。

ウィンドウは2つのセクションに分かれています。  
- この分析に使用された症状とループリックを紹介します。  
- 解析結果  
1つ目から順に詳しく説明します。

ここで使用されている例は、Case モジュールの 'Other' グループにあるデモケースの一部であることに注意してください。これらの例は、自由に遊んでいただいて結構です。Complete Dynamicsを起動するたびに、元のデモケースは「その他」グループに戻されます。

### 症状 vs ループリック

患者さんの情報を集めたら、レパトリーの中から患者さんの状況に合ったループリックを探すのが従来のやり方でした。この方法の大きな欠点は、患者の症状によっては1つのレパトリー・ループリックが必要であるが、他の症状では、その訴えを表現するいくつかのループリックを一緒に見つけることができることである。一つの症状を表すのに複数のループリックを使用した場合、その症状に合致するレメディが自動的に強くカウントされるため、他の症状に比べて誇張された数値が得られる。また、レパトリー言語という言葉で症状を表現することもない。特に、患者の症状を100%文字で表現できるルビがない場合、レパトリー・ルビ集は患者の訴えを正しく表現したものとは言えなくなる。

Complete Dynamicsは、SymptomsとRubricsを区別することで、これらの問題を解決しています。まず、分析された患者さんの症状を入力することができます。第二に、レパトリー・ルビをこれらのSymptomsと結びつけることができる。Analysisモジュールは、少ないループリックで表現されるSymptomもあれば、多くのループリックで表現されるSymptomもあることから、分析結果を自動的に補正することができる。ですから、患者さんの症状を十分にレパトリー・ループリックに表現するために必要なループリックの数を、分析結果に偏りが出ないように自由に選択することができます

症状は患者-ループリックはレパトリーの言語である。

Symptomsを使うメリットはまだあります。症状は患者の言葉であるため、個々のループリックの順位を明示的に操作することなく、症状に対して重要度の順位をつけることが容易にできる (これらを症状重み、ループリック重みと呼び、別項で説明する)。他にもメリットはありますが、それはご自分の目で確かめてください。

もちろん、素早くシンプルな解析を行うためには、Symptomを作成すると、必要ないオーバーヘッドが発生します。この場合、Symptomsを作らないようにすればいいのです。すべてのループリックは、自動的に「一般的な症状」の下に配置され、あなたには見えません。

一例を挙げます。以下はDemo case Andrew のスクリーンショットで、Symptoms を使用しない場合と使用した場合の2つです。

### Demo case, Andrew

Analysis January 1, 2009, A simple analysis  
Analysis uses 15 rubrics.

- 16 Mind; Activity; night
- 1 Mind; Activity; midnight, until
- 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
- 83 Mind; Activity; hyperactive
- 488 Mind; Cheerfulness
- 25 Mind; Noises; aversion to
- 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
- 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitive
- 1 Mind; Theorizing; evening
- 2 Mind; Theorizing; night
- 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
- 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- 58 Sleep; Waking; noise, from
- 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
- 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

### Demo case, Andrew

Analysis January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms  
Analysis uses 15 rubrics in 4 symptoms.

- ▼ 523 Mental activity
  - 16 Mind; Activity; night
  - 1 Mind; Activity; midnight, until
  - 83 Mind; Activity; hyperactive
  - 488 Mind; Cheerfulness
  - 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
  - 1 Mind; Theorizing; evening
  - 2 Mind; Theorizing; night
- ▼ 83 Sensitive to noise
  - 25 Mind; Noises; aversion to
  - 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitive
  - 58 Sleep; Waking; noise, from
- ▼ 60 Sleeplessness
  - 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
  - 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
  - 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- ▼ 192 Generalities
  - 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
  - 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

バリエーション Symptoms の方がより分かりやすい!

#### 症状の作成とループリックの追加

ケースを開き、分析を選択した状態で、分析に新しい症状を追加することができます。(ポップアップメニューオプション分析に追加)。  
症状(およびそれに関連するすべてのループリック)を削除するには、マウスまたはキーボードで症状を選択し、Deleteキーを押します。(ポップアップメニューオプション削除)。  
症状の詳細をダブルクリックすると、編集できます。(ポップアップメニューオプション症状を編集する)。

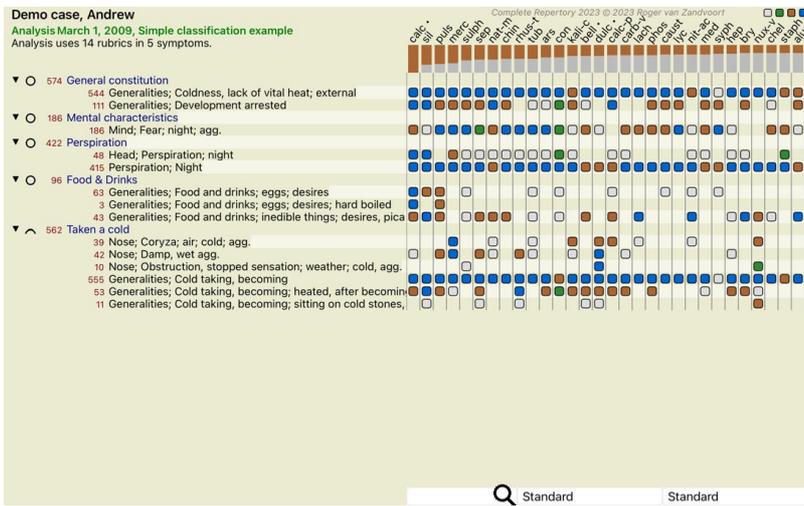
ループリックは常にBook またはFind モジュールから追加されます。(ポップアップメニューオプションループリックを分析に追加)。  
そして、症状リストで「現在」の症状として選択されている症状にループリックが追加されます。  
画面上部のツールバーで、どのSymptomか確認できます。

Mental activity

ツールバーから、ループリックを追加する別の症状を簡単に選択することができます。Symptomsが定義されていない場合、「Generic symptoms」というテキストが表示されます。

#### 症状・ループリックの整理

症状の整理順を変更することが可能です。Symptom を選択すると、その Symptom を移動することができます。(ツールバーボタン↑, ツールバーボタン↓)。  
ポップアップメニューのいくつかのメニューオプションで、症状を自動的にソートすることができます。



ルーブリックは、同じメニューオプションとツールバーボタンで、次の症状や前の症状に移動することができます。Symptom内では、Rubricsは常にBookの順番に従って並べられます。

## 結果

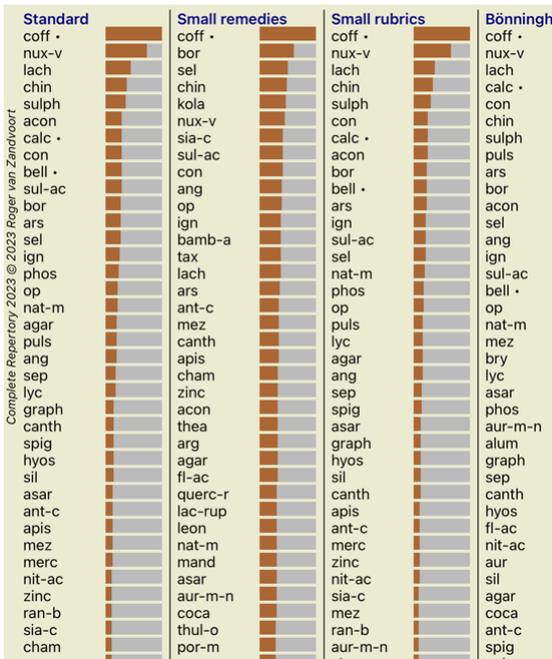
### 解析結果

AnalysisにSymptomsとRubricsが追加されたら、次は結果を見ます。これらの結果は、ウィンドウの右側に表示されます。

解析結果の見方には、基本的に2つの方法があります。  
 - 同じ分析結果で、複数の結果を概観することができます。  
 - 1つの分析結果の詳細な概要を表示します。

### 複数の解析結果を表示する

複数の結果の概要を選択することができます。(ツールバーボタン)。このように表示されます。



### 標準的な分析方法

この写真の標準的な結果は、次のような意味です。

- 標準** 厳選されたパラメータに基づく標準的な解析結果です。
- 小型レメディー** この結果、大きなレメディー（ポリクレスト）よりも小さなレメディーの方が重要視されることになります。これは、レメディーの出現率がレパートリー全体で不均等であることを補うものです。ポリクレストは分析から外されているわけではなく、優位性が低下しているに過ぎません。
- 小型ルーブリック** この結果、救済措置の少ないレピコンが救済措置の多いレピコンよりも重視されることになった。このように、ごく一般的なルーブリックよりも、より特徴的なルーブリックの方が結果に与える影響は大きくなります。
- ベニングハウゼン** この分析では、レパートリー内の関連するルーブリックでの出現率に基づいてレメディーがカウントされる。ベニングハウゼン分析は、主に大規模で汎用的なルーブリックで使用されます。また、極ルビに対する補正も重要です。詳しくは、*Analysis - Bönninghausen* をご覧ください。
- シンプルなカウント** これは、昔、鉛筆と紙だけでやっていたような、とてもシンプルな数え方です。分析対象のすべてのルーブリックについて、すべてのレメディーの階調を単純に加算している。

### 使用する分析手法の選択

Complete Dynamicsが提供する標準的な解析手法のすべてに興味があるわけではないのかもしれませんが。どの分析を表示するか、どのような順序で表示するかを決めることができます。環境設定の設定で変更することができます。詳しくは、「環境設定」をご覧ください。

### 解析結果の詳細

上の写真の結果を見ると、数字が一切印刷されていないことに気がつくと思います。すべてのレメディーの後ろにバーが表示され、レメディーの相対的な重要性を示しています。レメディーは重要なものから順に並んでいます。色のついた棒が短いほど、そのレメディーが与えられた結果において重要でないことを示しています。

結果に数字を表示させたい場合は、ツールバーのボタンを押すことができます。(ツールバーボタン)。すると、このような結果になります。

Standard	Small remedies	Small rubrics
coff • 100 / 12 / 3	coff • 100 / 12 / 3	coff • 100 / 12 / 3
nux-v 75 / 10 / 4	bor 61 / 6 / 4	nux-v 61 / 6 / 4
lach 46 / 8 / 4	sel 51 / 5 / 4	lach 46 / 8 / 4
chin 39 / 9 / 4	chin 49 / 9 / 4	chin 39 / 9 / 4
sulph 36 / 6 / 4	kola 48 / 5 / 3	sulph 36 / 6 / 4
acon 30 / 5 / 4	nux-v 46 / 10 / 4	acon 30 / 5 / 4
calc • 30 / 6 / 3	sia-c 42 / 4 / 4	calc • 30 / 6 / 3
con 30 / 5 / 3	sul-ac 42 / 5 / 4	con 30 / 5 / 3
bell • 29 / 6 / 3	con 41 / 5 / 3	bell • 29 / 6 / 3
sul-ac 29 / 5 / 4	ang 41 / 5 / 4	sul-ac 29 / 5 / 4
bor 28 / 6 / 4	op 40 / 5 / 3	bor 28 / 6 / 4
ars 28 / 7 / 3	ign 39 / 6 / 3	ars 28 / 7 / 3
sel 27 / 5 / 4	bamb-a 38 / 4 / 4	sel 27 / 5 / 4
ign 26 / 6 / 3	tax 38 / 4 / 3	ign 26 / 6 / 3
phos 24 / 6 / 4	lach 38 / 8 / 4	phos 24 / 6 / 4
op 22 / 5 / 3	ars 36 / 7 / 3	op 22 / 5 / 3
nat-m 22 / 5 / 4	ant-c 35 / 5 / 3	nat-m 22 / 5 / 4
agar 20 / 5 / 3	mez 35 / 4 / 3	agar 20 / 5 / 3
puls 20 / 4 / 3	canth 35 / 5 / 3	puls 20 / 4 / 3
ang 20 / 5 / 4	apis 34 / 4 / 4	ang 20 / 5 / 4
sep 20 / 6 / 4	cham 34 / 5 / 4	sep 20 / 6 / 4
lyc 19 / 6 / 4	zinc 33 / 5 / 3	lyc 19 / 6 / 4
graph 16 / 3 / 3	acon 33 / 5 / 4	graph 16 / 3 / 3
canth 15 / 5 / 3	thea 33 / 3 / 3	canth 15 / 5 / 3
spig 15 / 4 / 3	arg 33 / 4 / 2	spig 15 / 4 / 3
hyos 15 / 4 / 3	agar 33 / 5 / 3	hyos 15 / 4 / 3
sil 14 / 4 / 3	fl-ac 33 / 4 / 2	sil 14 / 4 / 3
asar 14 / 4 / 2	querc-r 32 / 3 / 2	asar 14 / 4 / 2
ant-c 14 / 5 / 3	lac-rup 32 / 4 / 3	ant-c 14 / 5 / 3
apis 13 / 4 / 4	leon 32 / 3 / 2	apis 13 / 4 / 4
mez 13 / 4 / 3	nat-m 31 / 5 / 4	mez 13 / 4 / 3
merc 13 / 3 / 3	mand 31 / 3 / 2	merc 13 / 3 / 3
nit-ac 12 / 3 / 3	asar 31 / 4 / 2	nit-ac 12 / 3 / 3
zinc 12 / 5 / 3	aur-m-n 31 / 4 / 3	zinc 12 / 5 / 3
ran-b 11 / 3 / 3	coca 31 / 3 / 2	ran-b 11 / 3 / 3
sia-c 11 / 4 / 4	thul-o 30 / 2 / 1	sia-c 11 / 4 / 4
cham 11 / 5 / 4	por-m 30 / 3 / 3	cham 11 / 5 / 4

状況によっては、結果を重要な順に並べ替えるのではなく、レメディが出現する症状やループリックの数に応じて並べ替えたい場合もあります。そして、ツールバーのボタン **!** を押し、「症状/ループリックの数で分析を並べ替える」という意味になります。(ツールバーボタン **!**)

#### 既に処方されている治療薬

すでに処方されているレメディがすぐわかるので便利なことも多い。過去に処方されたことのあるレメディには、名前の後ろに点がついています。

#### ループリックとレメディの関係性を見出す

ループリックとレメディの関係は、結果内のループリック、レメディのどちらかをクリックすることですぐに確認することができます。その際、対応するレメディやループリックが強調表示されます。

例ループリック *Mind; sensitive, oversensitive; noise; to; painful sensitiveness to* をクリックすると、結果エリアに次のように表示されます。

Standard	Small remedies	Small rubrics	Bönningh
coff •	coff •	coff •	coff •
nux-v	bor	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach
chin	chin	chin	calc •
sulph	kola	sulph	con
acon	nux-v	con	chin
calc •	sia-c	calc •	sulph
con	sul-ac	acon	puls
bell •	con	bor	ars
sul-ac	ang	bell •	bor
bor	op	ars	acon
ars	ign	ign	sel
sel	bamb-a	sul-ac	ang
ign	tax	sel	ign
phos	lach	nat-m	sul-ac
op	ars	phos	bell •
nat-m	ant-c	op	op
agar	mez	puls	nat-m
puls	canth	lyc	mez
ang	apis	agar	bry
sep	cham	ang	lyc
lyc	zinc	sep	asar
graph	acon	spig	phos
canth	thea	asar	aur-m-n
spig	arg	graph	alum
hyos	agar	hyos	graph
sil	fl-ac	sil	sep
asar	querc-r	canth	canth
ant-c	lac-rup	apis	hyos
apis	leon	ant-c	fl-ac
mez	nat-m	merc	nit-ac
merc	mand	zinc	aur
nit-ac	asar	nit-ac	sil
zinc	aur-m-n	sia-c	agar
ran-b	coca	mez	coca
sia-c	thul-o	ran-b	ant-c
cham	por-m	aur-m-n	spig

どのレメディがそのループリックに入っているのか、一目瞭然です

例remedysulph をクリックすると、次のような Symptom と Rubric の概要が表示されます。

**Demo case, Andrew**  
 Analysis January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms  
 Analysis uses 15 rubrics in 4 symptoms.

- ▼ 523 **Mental activity**
  - 16 Mind; Activity; night
  - 1 Mind; Activity; midnight, until
  - 83 Mind; Activity; hyperactive
  - 488 **Mind; Cheerfulness**
  - 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
  - 1 Mind; Theorizing; evening
  - 2 Mind; Theorizing; night
- ▼ 83 **Sensitive to noise**
  - 25 Mind; Noises; aversion to
  - 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sen
  - 58 **Sleep; Waking; noise, from**
- ▼ 60 **Sleeplessness**
  - 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
  - 51 **Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by**
  - 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- ▼ 192 **Generalities**
  - 80 **Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.**
  - 140 **Generalities; Food and drinks; coffee; desires**

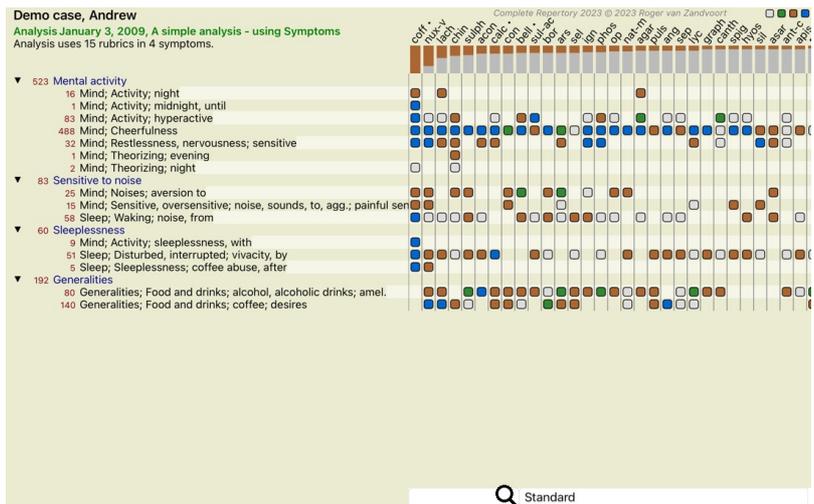
そして、どのルビでsulphが発生するのかをチラツと見ることができます。さらに、選択したレメディーは他の分析結果でもハイライト表示されるので、異なる分析での相対的な順位が一目瞭然です。

ここまでは、複数解析の概要です。それでは、1つの解析結果の詳細な概要を見てみましょう...

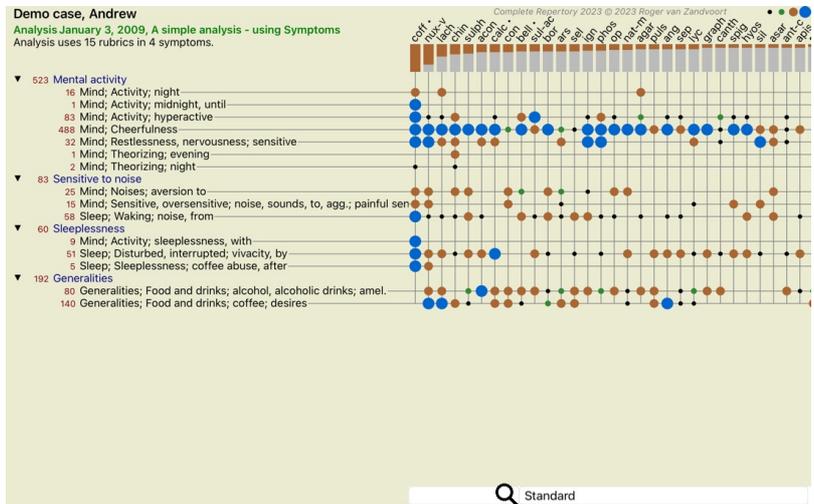
**1つの分析結果の詳細な概観を表示する**

1つの分析について、より詳細な概要を、好みに応じて、テーブル表示またはグリッド表示で表示することができます。(ツールバーボタン  ツールバーボタン )

テーブルビューはこのようになります。



Gridビューはこのようになります。



こうすることで、ルーブリックとレメディーの関係を一枚の絵で見ることができるようになるのです。もちろん、これは1つの解析に対してのみ可能です。ラスターの下には、選択ボックスが表示され、利用可能な解析結果を切り替えることができます。

ブロックまたはドットは、ルーブリックで救済措置が発生することを示します。

- グレード1
- グレード2

- グレード3
- グレード4

より詳細な情報が必要な場合は、弾丸をダブルクリックすると、完全なレメディー情報を得ることができます。

### Remedy information

**Rubric:** MIND; CHEERFULNESS.

**Remedy abbreviation:** coff, grade 4.

**Standard name:** Coffea cruda.

**English name:** Coffea cruda.

**Taxonomy:** kingdom *Plantae*, sub kingdom *Viridiplantae*, infra kingdom *Streptophyta*, super division *Embryophyta*, division *Tracheophyta*, sub division *Spermatophytina*, class *Magnoliopsida*, super order *Asteranae*, order *Gentianales*, family *Rubiaceae*, genus *Coffea*, species *Coffea arabica*.

**APG II taxonomy:** angiosperms, eudicots, core eudicots, asterids, euasterids I, Gentianales, Rubiaceae.

**Occurrences in related rubrics:** 5, **average grade:** 2.2.

#### Sources.

- Bönninghausen *Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen*
- C M von *Arzneien with handwritten annotations*, 1833.
- Gallavardin J P *Repertory of psychic medicines with Materia Medica*, 1897.
- Hering C *Analytical Repertory of Symptoms of Mind*, 1881.
- Hering C *Guiding Symptoms of our Materia Medica*, 1879.
- Jahr G H G *Handbuch der Haupt-Anzeigen für die richtige Wahl der homöopathischen Heilmittel*, Herrmann Bethmann, 1851.
- Jahr G H G *Systematisch-alphabetisches Repertorium der homöopathischen Arzneimittellehre*, Herrmann Bethman (Leipzig), 1848.
- Knerr C B *Repertory of Hering's Guiding Symptoms*, 1896.
- Lippe A von *Keynotes and Red line symptoms of Materia Medica*, 1915.
- Trinks C F & Müller C *Handbuch der homöopathischen Arzneimittellehre III*, T.O. Weigel (Leipzig), 1847.
- Vithoulkas G *Lectures*, 1985.

[Close](#)

また、ルビヤレメデイをクリックすると、ハイライト表示させることができます。

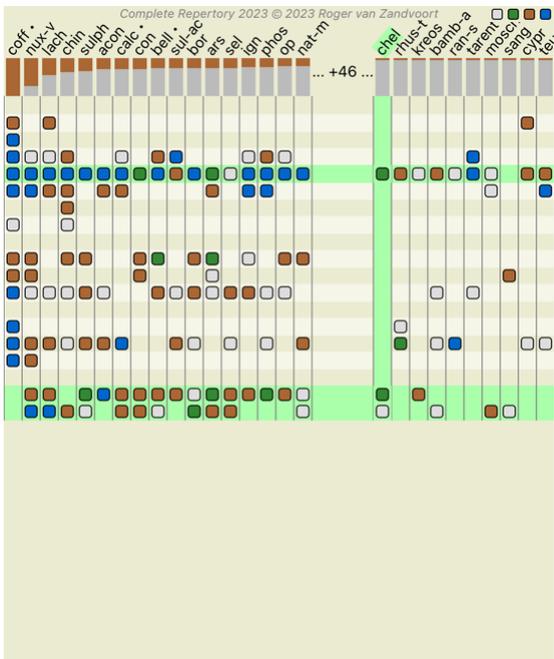
もちろん、ツールバーのボタン「BUTTON:analysisviewshownumbers」「BUTTON:analysisviewsortonrubrics」で数字を表示したり、ソート順を変更することも可能です。

#### 解析結果の中から救済策を探す

分析結果の上位を見るだけでなく、その中で特定のレメディーがどの位置にあるかを正確に知りたい場合もあります。

あとは、分析結果の下にある *Locate remedy* の欄にレメディーの略称を入力するだけです。解析は必要に応じて再描画し、結果の一部をスキップして、お客様の救済策が表示されるようにします。お探しのレメディーは、自動的にハイライト表示され、より見やすくなっています。

Standard	Small remedies	Small rubrics	Bönningh
coff ·	coff ·	coff ·	coff ·
nux-v	bor	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach
chin	chin	chin	calc ·
sulph	kola	sulph	con
acon	nux-v	con	chin
calc ·	sia-c	calc ·	sulph
con	sul-ac	acon	puls
bell ·	con	bell ·	ars
sul-ac	ang	ars	bor
bor	op	ign	acon
ars	ign	sul-ac	sel
sel	bamb-a	sel	ang
ign	tax	nat-m	ign
phos	lach	phos	sul-ac
op	ars	op	bell ·
nat-m	ant-c	puls	op
agar	mez	lyc	nat-m
puls	canth	agar	mez
ang	apis	ang	bry
sep	cham	sep	lyc
lyc	zinc		asar
...	...	...	...
chel	chel	chel	chel
rhus-t	cygn-c	cypr	ferr
kreos	aur	teucr	cham
bamb-a	calc ·	kali-bi	cocc
ran-s	hyoc	prun	leon
tarent	cocc	tarent	cur
mosch	ven-m	onc-t	kreos
sang	onc-t	agav-t	arn ·
cypr	sang	leon	aur-s
teucr	caps	nat-p	tritic-v
prun	crat	brom	staph
kali-bi	am-c	cygn-c	onc-t
nat-p	staph		arg



解析結果のフィルタリング

レメディーファミリーで結果を絞り込む

通常、解析結果にはすべてのレメディーが表示されます。レメディーの検索結果を、特定の王国、ファミリー、その他のグループに属するレメディーのみに制限することができます。そのためには、ツールバーのドロップダウンリストから選択するだけです。

よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプションその他..を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム&

ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。

Rubric selector

Filter

**Kingdoms & families**

- Acids (72) ⓘ >
- Agents & toxins (56)
- Alkaloids (85)
- Amides (9)
- Amino acids (22)
- Anaerobes (27) ⓘ >
- Animals (322) ⓘ >
- APG II taxonomy ⓘ >
- Bacteria (62) ⓘ >
- Bloods (37)
- Body products (84)
- Building stages (2)
- Permanently add to list

Cancel OK

**KINGDOMS & FAMILIES; ACIDS:** acet-ac acon-ac agarin ami-sal-ac amp amyg-am asc-ac benz-ac betin bor-ac brom-ac but-ac camph-ac carb-ac chr-ac chrys-ac cit-ac coenz-a cortico cystin d-phenyl des-ac fl-ac form-ac fumar-ac gaba gall-ac guan hemog hip-ac histid hydr-ac hydrobr-ac i-leuc iod-ac kali-ar kali-x keto-ac l-leuc l-phenyl lac-ac lanol mal-ac methion mur-ac n-leuc nit-ac nit-m-ac ol-suc oro-ac ox-ac ph-ac plc-ac prol pyro-ac rib-ac sal-ac salol sarcol-ac succ-ac sul-ac sul-ac-aro sulo-ac tann-ac tart-ac tell-ac thio-ac threnin trypt tyrin ur-ac vali

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

オプション *Permanently add to list* をチェックすると、選択したグループがリスト内の標準グループに恒久的に追加されます。次にプログラムを起動したときにも、そのグループはリストに残っています。後で削除したい場合は、*Other...* オプションで同じグループを再度選択し、オプションの選択を解除してください。

## アドバンスドトピックス

### 分析の微調整

解析の作成と結果の解釈の基本を学んだところで、次は、患者さんの情報の解釈に従って解析を微調整するための上級者向けのトピックを紹介します。

- 取り上げるトピックは
- 重りを使うこと。
  - 症状のバランスをとる。
  - 極ルビとコントラ表示。
  - ルーブリックグループ
  - ルーブリックの概要
  - レメディーファミリーで結果を絞り込む。

選択された複数の行に対して、一度に多くのアクションを実行することができます。

### ウェイトの使用

すべての症状とルーブリックに、所定のウェイトを割り当てることができる。患者さんの症状に一定の重要性を持たせるように、あるいはレパートリーのレメディに異なるグレードが発生するように、症状やルーブリックにもそれぞれ一定の重要性を持たせることができるのです。

高い値を設定することで、その症状やルーブリックが分析結果においてより重要視されるようになる。また、重みを0にすることで、その症状やルーブリックを分析から完全に除外することができる。

重みを設定するには、まず、症状やルーブリックをマウスでクリックして選択します。

さて、重量の設定にはいくつかの方法があります。

- 0 (ツールバーボタン<sup>0</sup>, ポップアップメニューオプション *重み / 計算外*).
- 1 (ツールバーボタン<sup>1</sup>, ポップアップメニューオプション *重み / 普通*).
- 2 (ツールバーボタン<sup>2</sup>, ポップアップメニューオプション *重み / 重みx 2*).
- 3 (ツールバーボタン<sup>3</sup>, ポップアップメニューオプション *重み / 重みx 3*).
- 4 (ツールバーボタン<sup>4</sup>, ポップアップメニューオプション *重み / 重みx 4*).

次の例は、重みが設定されている解析です（あくまでデモンストレーションです）。

左側にツールバーのボタンが表示されていますね。ツールバーのボタンには、選択した症状やルーブリックの実際の重量が常に表示されます。症状やルーブリックの前のXは、重み付けが0であることを示し、分析から除外される。

症状のバランスをとる

Balancing of Symptomsは、1つのSymptomに含まれるRubricの数が多いか少ないかを補正する、高度な解析メカニズムである。Balancingがオンになっている場合（通常はオンになっています）、分析を妨げることなく、症状の下に好きなだけループリックを配置することができます。

従来の分析では、ある症状を表現するために多くのループリックを使用すると、その一つの症状に合致するレメディが分析を支配するようになるため、分析するループリックを慎重に選択する必要があります。同様に、1つのループリックのみを使用した場合、他の症状に使用したループリックと比較して、そのループリックのレメディは全体の分析に十分に貢献しない。

症状の「バランス調整」をオンにすると、すべての症状は、その下に1つのループリックを置いた場合でも、たとえば10個のループリックを置いた場合でも、それに割り当てられた重み（重みの使用を参照）でカウントされるようになります。

バランス調整のオン・オフは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタンで行います。（ツールバーボタン）。

一例を見てみましょう。以下の分析では、頭の痛みを表現するために多くのルビを振っています。Balancingを使用しない場合、*Glonoinum* が結果を支配し、Balancing *Natrum Muriaticum* がより顕著になります。

#### Demo case, Andrew

##### Analysis February 1, 2009, Symptoms with many or few rubrics.

Analysis uses 13 rubrics in 4 symptoms.

#### ▼ 954 Head pains

- 14 Head; Pain, headache; morning; agg.; six am.
- 160 Head; Pain, headache; extending to; backward
- 188 Head; Pain, headache; extending to; occiput
- 110 Head; Pain, headache; extending to; temples
- 119 Head; Pain, headache; extending to; upward
- 944 Head; Pain, headache; forehead
- 57 Head; Pain, headache; forehead; air; open; agg.
- 48 Head; Pain, headache; forehead; eyes; above; morning
- 14 Head; Pain, headache; bursting; menses; during

#### ▼ 84 Sadness

- 84 Mind; Sadness, depression; menses; before

#### ▼ 163 Menses

- 127 Female; Menses; pale, watery
- 105 Female; Menses; thin, liquid

#### ▼ 173 Aversions and desires

- 173 Generalities; Food and drinks; salt or salty food; desires

解析結果。

No バランス調整

バランス調整付き

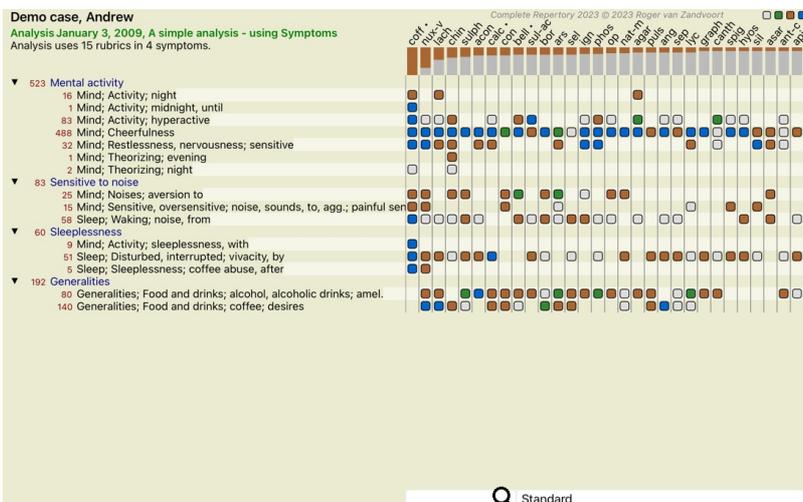
Standard	Small remedies	Bönninghaus	Standard	Small remedies	Bönninghaus
glon 100/9	glon 100/9	sep 100/9	nat-m 100/9/4	sanic 100/7/4	nat-m 100/9/4
sep 94/12	hell 85/9	bell · 100/9/4	lyc 93/11/4	kali-p 99/8/4	nat-ac 99/8/4
lach 91/11	cimic 78/8	calc · 90/8/4	calc · 78/10/4	gink 92/7/4	lyc 91/11
bell · 87/10	tritric-v 78/8	lach 90/8/4	sep 78/12/4	cycl 90/6/4	calc · 90/8/4
lyc 81/11	gink 77/7	lyc 90/8/4	puls 77/8/4	nat-s 89/6/4	carb-v 89/6/4
nat-m 78/9	kali-p 75/8	nux-v 82/8/4	nit-ac 77/9/4	arist-cl 87/6/4	sep 87/6/4
calc · 76/10	sanic 71/7	thuj 82/8/4	carb-v 68/8/4	cocc 84/8/4	puls 84/8/4
nux-v 74/9	plat 69/8	glon 82/8/4	caust 63/9/4	tub 81/6/4	verat 81/6/4
phos 66/10	spig 67/8	nit-ac 82/8/4	glon 63/10/4	nat-c 80/8/4	con 80/8/4
caust 66/9	sang 67/6	bell · 53/10/3	lach 55/11/4	sac-alb 80/4/4	lac-c 80/4/4
thuj 61/9	kali-n 65/7	caust 53/10/3	caust 53/10/3	manc 80/5/4	caust 80/5/4
bry 60/9	cocc 65/8	bry 52/6/3	ferr 52/6/3	hell 79/9/3	ferr 79/9/3
cimic 59/8	alum 64/8	cimic 52/6/4	con 52/6/4	lampr-s 79/3/3	phos 79/3/3
puls 57/8	lach 64/11	carb-v 44/4/4	verat 44/4/4	lac-d 76/6/3	sulph 76/6/3
nit-ac 55/9	berb 63/6	puls 44/5/3	stann 44/5/3	cimic 75/8/3	chin 75/8/3
sulph 54/9	nit-ac 63/9	phos 43/8/3	cimic 43/8/3	nit-ac 74/9/4	bell · 74/9/4
spig 53/8	thuj 62/9	lac-c 41/6/3	lac-c 41/6/3	emer 73/5/3	lach 73/5/3
chin 47/7	aloe 62/7	chin 41/9/3	sulph 41/9/3	berb 73/6/3	cimic 73/6/3
carb-v 46/8	kali-bi 62/7	sulph 38/8/4	kali-p 38/8/4	carb-v 72/8/4	thuj 72/8/4
plat 42/8	arist-cl 61/6	ferr 37/9/3	nux-v 37/9/3	bov 70/6/3	nat-s 70/6/3
ferr 40/6	lac-c 60/6	plat 35/8/3	plat 35/8/3	ferr-p 70/4/3	stann 70/4/3
kali-bi 39/7	mang 60/6	lac-c 34/7/3	chin 34/7/3	tritric-v 70/8/3	nux-v 70/8/3
staph 39/7	nat-c 60/8	tritric-v 33/8/4	cocc 33/8/4	plat 70/8/3	plb 70/8/3
lac-c 36/6	phys 60/6	stann 32/6/4	cycl 32/6/4	dys-co 69/4/3	alum 69/4/3
alum 36/8	lac-d 60/6	con 30/9/3	thuj 30/9/3	psor 68/4/4	kali-p 68/4/4
hell 36/9	caust 60/9	alum 30/6/3	graph 30/6/3	jade 68/4/3	graph 68/4/3
cocc 36/8	nat-s 59/6	staph 30/8/3	alum 30/8/3	aur-m-n 67/4/3	plat 67/4/3
stann 35/5	sep 59/12	cocc 28/9/3	bry 28/9/3	lac-c 67/6/3	tritric-v 67/6/3
tritric-v 35/8	kalm 58/6	prun 28/6/4	nat-s 28/6/4	am-c 67/6/3	sanic 67/6/3
sang 32/6	laur 57/6	kali-bi 28/6/3	berb 28/6/3	rhus-g 65/3/3	manc 65/3/3
kali-p 32/8	emer 57/5	dul · 27/7/4	sanic 27/7/4	alco 65/3/3	cocc 65/3/3
mang 31/6	chel 57/7	aloe 26/9/3	hell 26/9/3	ferr 64/6/3	tarent 64/6/3
con 31/6	am-c 56/6	kali-p 25/6/3	bov 25/6/3	carc 64/4/3	sabin 64/4/3
chel 27/7	lyc 56/11	arg-n 25/4/3	arg-n 25/4/3	med 63/4/3	ign 63/4/3
graph 26/6	cycl 56/6	sabin 24/5/4	manc 24/5/4	lach 62/11/4	bry 62/11/4
arg-n 26/5	bov 55/6	graph 24/4/3	aur-m-n 24/4/3	caust 62/9/4	caust 62/9/4
cham 26/5	carb-v 55/8	mang 24/6/4	tub 24/6/4	bamb-a 62/5/3	aloe 62/5/3

注： バランシング症状は基本解析に影響しません シンプルカウンティング。

ポーラ・ループリックとコントラ・インジケータ

極ルビとは、反対の意味を持つ2つのルビのことです。

例えば、簡単な例として、最初にレメデイ *coff* が処方された場合を考えてみよう。



Generalities の下には、2つのループリックがあり、いずれも極性ループリックであることがわかります。

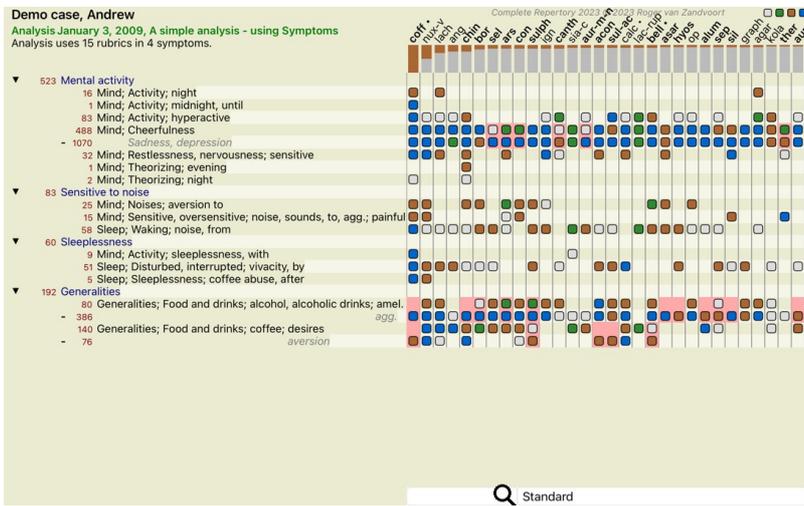
-amel -agg.

-desires -aversion.

この極ループリックは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン⇄を押すことで分析に利用することができます。(ツールバーボタン⇄)。

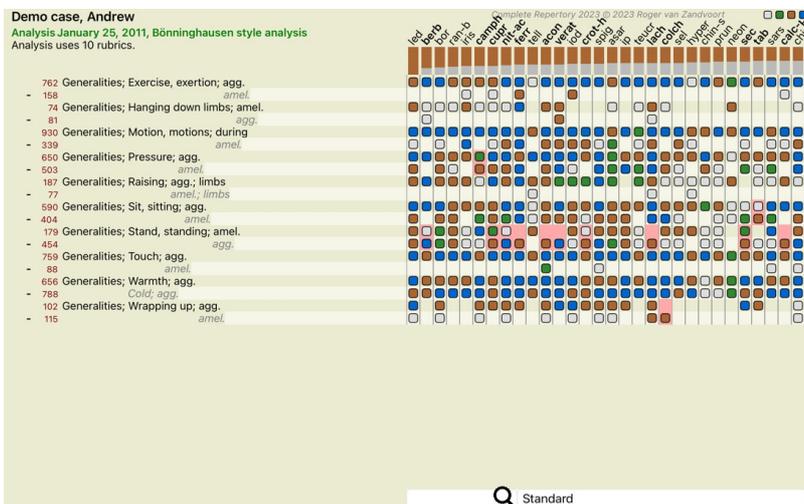
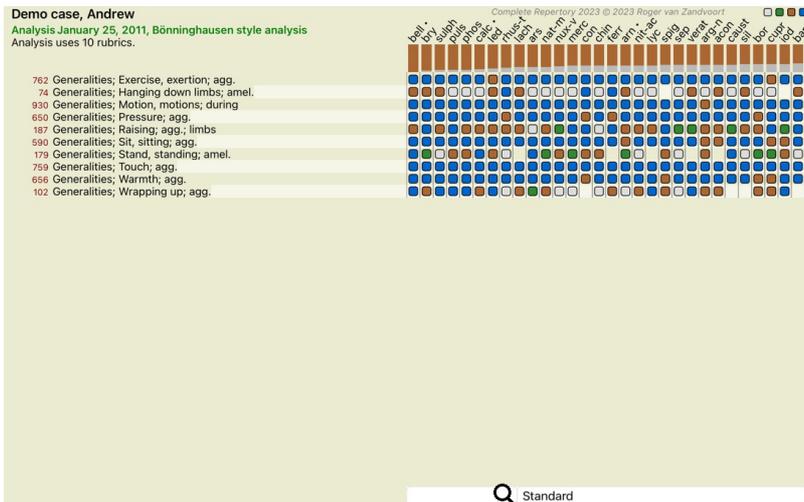
amel と desires の両方のループリックの下に、その極ループリックが表示されるようになりました。

また、レメデイの値を極ルビの値で補正するようになったため、解析結果も変化しています。



レメディ *coff* は、この分析ではコントラ表示であるため、赤色で表示されるようになりました。コントラ表示とは、あるルーブリックでは低評価（1、2、または全く評価されない）で、極ルーブリックでは高評価（3、4）で救済措置が発生する状況を指す。

より複雑な例は、次のBönninghausen様式の分析で示される。



### ルーブリックグループ

ルーブリックのグループ化は、2つ以上のルーブリックをあたかも1つのルーブリックであるかのようにカウントしたい場合に行います。

- ルーブリックのグループ分けには、2つの方法があります。
- クロスする。ALLルーブリックに出現するレメディーだけを使用する。
- 組み合わせる。どのルーブリックからもレメディが使用される。

### グループ化の例

ルーブリックの掛け合わせは、患者の症状を正確に表現するルーブリックがレポーターになく、より一般的なルーブリックしかない場合に有効である。

例えば、発熱時に「朝、ベッドに在るのが不安だ」と患者さんが言ったとします。レポーターにはルーブリックがない心: 不安: 朝: ベッドで: 熱: 中: しかし、この代わりに、さらに2つの一般的なルビがあるMind: anxiety; morning; bed, in とMind: anxiety; fever heat; during。この2つのルーブリックを掛け合わせることで、両方のルーブリックで発生する改善点のみを含む新しいグループ化されたルーブリックが作成されます。

ルーブリックを組み合わせることで、正確には見つかからないが、より具体的な症状の下に見つかるような症状がある場合に有効である。

例えば、ピザを食べたいという欲求。なぜ、患者さんはピザが好きなのでしょうか? 多分、生地 (フアリナステイックフード)、トマト、サラミ、アンチョビ、チーズ、オリーブなどでしょう。患者の主訴と比較して、あまり重要でない特定のルーブリックをたくさん追加して分析式を乱すことなく、そのような特定のルーブリックをいくつか組み合わせて新しいルーブリックにすることは有用である。

### ルーブリックグループの作成

一例として、歩行中に頭が縫うように痛み、数種類の動物が怖いという症例があります。

**Demo case, Andrew**

Analysis February 1, 2009, Grouping example  
Analysis uses 5 rubrics.

- 57 Mind; Fear; dogs, of
- 12 Mind; Fear; rats
- 5 Mind; Fear; wolves, of
- 496 **Head; Pain, headache; stitching**
- 786 Generalities; Walk, walking; during

頭の痛みを表現する2つのルビを一緒に交差させたいと思います。ルーブリック *Head; pain; stitching* をクリックして選択し、ツールバーボタン  を押してください。(ツールバーボタン , ポップアップメニューオプションルーブリック・グループ/他のルーブリックとグループにまとめる)  
ダイアログが表示され、選択したルーブリックと連携できるルーブリックを選択することができます。  
上部で、オプションクロスを選択します。ルーブリック *Generalities; walk, walking; during* を選択し、OKボタンを押す。

**Add rubrics to a rubric group**

Grouping method

Label

Select one or more rubrics to add to this group:

Rubrics

- Mind; Fear; dogs, of
- Mind; Fear; rats
- Mind; Fear; wolves, of
- Head; Pain, headache; stitching**
- Generalities; Walk, walking; during

Cancel OK

2つ目のグループには、別の方法を用います。Mind; fear の3つのルビを選択し、もう一度  を押してください。

**Demo case, Andrew**  
 Analysis February 1, 2009, Grouping example  
 Analysis uses 4 rubrics.

- 57 Mind; Fear; dogs, of
- 12 Mind; Fear; rats
- 5 Mind; Fear; wolves, of
- ▼ 408 *Crossed rubrics*
  - 496 Head; Pain, headache; stitching
  - 786 Generalities; Walk, walking; during

ここで、オプション *Combine* を選択し、OKボタンを押します。

**Add rubrics to a rubric group**

Grouping method

Label

Select one or more rubrics to add to this group:

Rubrics

- Mind; Fear; dogs, of
- Mind; Fear; rats
- Mind; Fear; wolves, of

Cancel OK

その結果、ルーブリックリストは今、こうなった。

**Demo case, Andrew**  
 Analysis February 1, 2009, Grouping example  
 Analysis uses 2 rubrics.

- ▼ 66 Combined rubrics
  - 57 Mind; Fear; dogs, of
  - 12 Mind; Fear; rats
  - 5 Mind; Fear; wolves, of
- ▼ 408 Crossed rubrics
  - 496 Head; Pain, headache; stitching
  - 786 Generalities; Walk, walking; during

グループを変更するには、グループのメインループリックをクリックし、を押すだけです。ダイアログで、ループリックのオン・オフを切り替えることができます。また、ループリックをクリックしてを押すと、グループからループリックを削除することができます。(ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションループリック・グループ/ループリック・グループの削除。グループを完全に削除するには、グループのメインループリックをクリックし、を押してください。 (ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションループリック・グループ/ループリック・グループの削除)。

上図のように、ダイアログでループリックを選択することなく、素早くグループを作成できるメニューが2つ用意されています。最初に2つ以上のループリックを選択し、それらを結合することができます。(ポップアップメニューオプションループリック・グループ/選択したループリックを組み合わせる)。最初に2つ以上のループリックを選択し、それらをクロスさせることができます。(ポップアップメニューオプションループリック・グループ/選択したループリックをクロス)。

ループリックグループは分析にどのように使用されるか

複数のループリックを横断する場合、そのグループにはすべてで発生するレメディーだけが含まれます。救済措置の評点は、すべてのループリックにおいて、最低の評点とします。

[TAG\_ERROR] 複数のループリックを組み合わせる場合、グループ内のループリックのうちいずれかで発生する救済措置がグループに含まれる。[TAG\_ERROR] 救済措置の評点は、グループ内のどのループリックでも、その救済措置について見つかったの最高評点とします。

ループリックの概要

ある分析に含まれるすべてのループリックの概要とその対処法を知ることができると便利な場合があります。また、グループ化されたループリックの場合、結果的にどのレメディーが出現するかを確認するのもよいでしょう。

すべてのループリックの概要を知るには、「ループリックの概要を表示」を選択するだけです。(ポップアップメニューオプションその他/ループリックの概観)。Find モジュールが開き、以下のように表示されます。

**COMBINED RUBRICS: MIND; FEAR; DOGS, OF / MIND; FEAR; RATS / MIND; FEAR; WOLVES, OF**  
 : absin acon agar Alum amph androc arn astac BAC BELL BOS-S BUFO CALC calc-ar carc CAUST cer chel CHIN choc CIMIC Con cupr-acet dor dpt dysp-n Hydrog HYOS insul LAC-C lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c Manc mand med NAT-M nat-p nit-ac op ory-c phos Plac plat PLUT-N polyst pras-c PULS Sanic Scirr SCORP sep sil sol-t STRAM sulph syco tax TUB tub-k verat Xan

**MIND; FEAR; dogs, of:** agar Alum amph androc astac BAC BELL BUFO CALC carc CAUST cer chel CHIN choc Con cupr-acet dor dpt dysp-n Hydrog HYOS insul LAC-C lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c Manc mand med NAT-M nat-p nit-ac ory-c phos plat PLUT-N polyst pras-c PULS Sanic Scirr SCORP sil sol-t STRAM sulph syco tax TUB tub-k verat Xan

**MIND; FEAR; rats:** absin acon arn bell BOS-S CALC calc-ar CIMIC op phos Plac sep

**MIND; FEAR; wolves, of:** amph bell cer chel dor

**CROSSED RUBRICS: HEAD; PAIN, HEADACHE; STITCHING / GENERALITIES; WALK, WALKING; DURING:** acan-p ACON act-sp adam AESC AETH AGAR AGN aids alch-v ALL-C allox ALOE ALUM ALUM-P ALUM-SIL ALUMN AM-C AM-M AMBR ammc ANAC anag ANATH ANG ANT-C ANT-T APIS apoc aq-des ARAN ARG ARG-N ARN ARS ARS-1 ars-met ars-s-f Ars-s-r arum-t ASAF Asar asc-t astac aster ATRO AUR aur-ar aur-i AUR-M-N aur-s bacch-a Bad BAMB-A bapt Bar-acet BAR-C bar-i bar-m bar-s BELL bell-p BERB biti-g blatta BOR bos-s both-a BOV BROM Bros-g bruc BRY BUFO bux cadm-s cahin Calad CALC Calc-acet calc-ar calc-caust calc-f calc-i CALC-P CALC-S calc-sil calen CAMPH CANN-i cann-s CANTH CAPS caras carb-ac CARB-AN CARB-V carbon-o CARBN-S CARC card-b carl Cassi-s cast caul CAUST cedr cere-b CHAM CHEL CHIN chin-ar Chin-s choc CIC CIMIC CINA cinnb cist CLEM cob GOC-c COCC coff COLCH COLOC colocin com CON cop corn CROC crot-c CROT-H Croto-t Cund CUPR cupr-ar cupr-s CUR Curc CYCL Cyt-I daph der DIG Dios diox dirc DROS DULC echi-a ELAPS emer epiq euis ery-a eug euon eup-per EUPH EUPHR eupi Fago falco-p FERR Ferr-acet ferr-ar FERR-I FERR-P fic-i fic-m Fl-ac Flor-p form galeoc-c gall Gamb GELS gent-c gink gins GLON Gran GRAPH GRAT GUAI harp HELL Helo helod-c hema-h HEP her-s hipp hom hydr Hydr-ac HYOS hyosin hyper IGN indg insul inul IOD iodof IP irid-m iris jatr JUG-C kali-ar KALI-BI KALI-C kali-chl kali-cy KALI-I KALI-N KALI-P kali-s kali-sil KALM Kola KREOS kurch LAC-C lac-h lac-m LACH lachn LACT Lam lap-laz lappa Laur lec LED LIL-T lipp Lith-c Lob lob-c lol loxo-r LYC lycpr LYSS M-ARCT M-art M-AUST MAG-C MAG-M MAG-P mag-s magn-gr MANC MANG Mang-acet meli-a menth MENY MERC MERC-C merc-f merc-s MERL methyl-p-h MEZ Mil Mim-p morpho-m Mosch MUR-AC naja naja-m nat-ar NAT-C nat-git nat-hchis NAT-M NAT-P NAT-S nat-sil nept-m NICC NIT-AC nit-m-ac nuph NUX-M NUX-V Ol-an ol-j olea Olnd onc-t Op OZON paeon Par paraf paul-p perl PETR PH-AC Phel PHOS phyl-a phys phyt PIC-AC pier-b Pimp Pip-m pitu-a plan PLAT PLB Plb-acet plect pras-s PRUN PSOR PTEL PULS pyrog pyrus-c rad-br RAN-B RAN-S raph Rat rheum RHOD RHUS-T ros-d RUTA SABAD SABIN sac-i sal-ac Samb SANG SANIC SARS scan sec SEL senec Seneg SEP SIL sol-n SPIG SPONG SQUIL STANN STAPH stel still STRAM STRONT-C STRY SUL-AC sul-i SULPH Syph TAB TARAX TARENT TARENT-C Tax teg-a tell telo-s Ter Teucr THER THUJ Til Tong toxop-p Tritic-v Trom TUB tung upa URAN vac VALER VERAT VERB vesp vib vinc Vince viol-o VIOL-T vip visc with-s X-ray ZINC zinc-acet zinc-p Zing ziz

**HEAD; PAIN, headache; stitching:** ACAN-P acher-a ACON acon-ac act-sp adam aegeo-p AESC AETH AGAR agath-a AGN AIDS alch-v Alco ALL-C allox ALOE ALUM ALUM-P ALUM-SIL ALUMN AM-C AM-M AMBR Amet ammc ANAC Anac-oc anag ANATH andr andri-q androp-ang ANT-C ANT-O ANT-T aphis APIS apoc aq-des ARAN ARAN-IX ARG ARG-N Argo Arist-s ARN ARS ARS-1 ars-met ARS-S-F Ars-s-r art-v ARUM-T ASAF Asar ASC-C asc-t astac ASTER ASTRA-E ATRO atro-s AUR aur-ar aur-i AUR-M-N Aur-s bacch-a Bad BAMB-A bapt BAR-ACET BAR-C bar-i BAR-M BAR-S BELL bell-p benz

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2023 © 2023 Roger van Zandvoort

分類

症状別分類の紹介

Samuel Hahnemann's Organon and Chronic Diseasesを見ると、ハーネマンは患者の現在あるいは過去の状況に見られるすべての症状に基づいてレメディーを選択したのではないことがわかる。彼は、患者さんの症状を丁寧に分類し、その分類に基づいた治療を行いました。

ハーネマンの分類はもちろん、ユーザー定義のA、B、C、D、Eグループも用意されており、自由に使うことができます。

画面左側のツールバーで利用できる分類のオプション。

シンボルマーク	名称	意味
	ブソラ	コアの乱れ。 オルガノン第6版§80 (psoric miasma)。



インシデント	患者さんの身の回りで起こったこと、患者さんに影響を与えたこと。 急性疾患です。 オルガノン§72（有害な影響）。
エビデミック	外部から感染する病気：インフルエンザ、レジオネラ菌、SARS、はしか、おたふくかぜなど。（中間感染症）。 オルガノン§73（流行性疾患）。
アキュートミズム	病気は内側から来るもので、多くの場合、外から来る事件や刺激が引き金となる。不満は深刻です。 オルガノン§73（潜在的なブツラの一過性の爆発）。
遺伝的傾向	先祖代々続いてきた病気で、遺伝的に患者さんに受け継がれるもの。
医原性	薬の使用状況や予防接種の状況。 オルガノン 第74巻。
サイコシス	淋病に感染したこと。 オルガノン 第79条（sycotic miasma）。
梅毒	梅毒に感染したこと。 オルガノン§79（梅毒の瘴気）。
ユーザーA	ご自由にお使いください。
ユーザーB	ご自由にお使いください。
ユーザーC	ご自由にお使いください。
ユーザーD	ご自由にお使いください。
ユーザーE	ご自由にお使いください。

この分類は、「症状」のレベル、または個々のRubricsに適用することができます。  
症状に分類を設定すると、その設定は「症状」内のすべてのループリックに適用されます。これにより、ループリックに適用されていた設定は使用されなくなります。

デモ事例簡単な分類例もご覧ください。

#### レメディーフィルターと分類

症状やループリックの分類を分析に使用した場合、各分析の救済措置は自動的にフィルタリングされます。このフィルタリングは、ハーネマンの著作にある情報に基づいて行われています。

*Psora* の場合、レメディーは、すべてのミネラルとノゾーズ、それにLach, Lyc, Sepを加えるが、Mercは除く。  
*Incident, Acute Miasmatic, Epidemic* の場合、レメディーは：すべての植物と動物、それにMerc, Ars, Ant-c。  
*Iatrogenic* の場合、レメディーはループリック *Intoxication after medicaments*、および *Ailments from vaccination* にあるものである。  
受け継がれた傾向の場合、レメディーは：すべてのノゾーズです。  
その他のグループについては、すべてのレメディーを表示しています。

#### クリップボード

A-B-C-D-Eのクラスは、クリップボードとしても使用可能です。これらをSymptomsや個々のRubricsに割り当てることで、分析結果に対して異なる見方をすることが非常に容易になります。

詳細はこちら

上記の分類に関する情報は限られています。  
ハーネマンの分類の使用に関する優れた情報は、ウェブサイト <http://www.ewaldstoteler.com> で見ることができます。

#### マルチビュー

これで、解析の作り方がわかりましたね。また、このケースはこういう症状だという解釈で、分析を微調整する方法も知っていますね。  
症状やループリックに重みをつけている場合があります。分類を割り当てている場合があります。使用するループリックの救済措置の重要度を量るための分析式を選択しました。そして、もしかし  
たら、与えられたレメディー王国で結果をフィルタリングしているかもしれません。

これらの設定はすべて、あなたの解釈に基づいて、最適な解析結果を得るためのものです。  
しかし、それは患者さんの症状に対するあなたの解釈、あなたの見方です。これらの症状は不変のものであり、あなたが収集した観察された事実です。どのような意見を持っていても、観測された  
症状こそが現実なのです。(Organon §18)

しかし、同じ症状でも、別の視点から、別の見方で、解釈してみることも考えてみてはいかがでしょうか。もちろん、解析の設定をすべて変えて、様子を見ることもできます。しかし、そうすると  
元の分析結果が変わってしまい、再び見るためには、変更した設定をすべて元に戻さなければなりません。

解析の設定を変更しても、元の設定が失われないようにするために、Multiple Viewsを作成しました。

#### アナリシスビューとは？

分析ビューは、分析に適用できるすべての設定の総称です。

重量	0 1 2 3 4
分類	⊚ ⚡ ⋮ ⤴ ⤵ ⊗ × [A] [B] [C] [D] [E]
バランス症状	⊕
コレクトポラー	↔
解析式	例えば "Small Remedies".
レメディーフィルター	例えば、"植物"

複数のビューを作成し、それぞれ独自の設定コレクションを持つことができます。  
例として、デモケース アンドリユー、分析マルチビューを見てください。

#### ビューの作成

メニューやツールバーから、新しいビューを作成することができます。(ツールバーボタン **+**, ポップアップメニューオプション表示 / 新しいビューを追加する).

新しいビューは、元のビューのコピーで、まったく同じ設定になっています。新しいビューの設定に加えた変更は、そのビューにのみ適用されます。他のビューはすべて元のままです。  
必要であれば、新しいビューにオプションで名前を付けることができます。

すべてのビューで、まったく同じ症状とループリックのコレクションを使用していることに注意してください。患者さんの状況は同じで、見方によって違うのは自分の解釈です。

メニューから簡単に表示を切り替えることができます。(ツールバーボタン **⊙**, ポップアップメニューオプション表示 / Standard).

選択したビューが不要になった場合は、削除することができます。(ポップアップメニューオプション表示 / 現在のビューを削除する).  
ビューに付けた名前はいつでも変更可能です。(ポップアップメニューオプション表示 / 現在のビューの名前を変更).

また、メニューやツールバーに表示されるビューの順序を変更することもできます。(ポップアップメニューオプション表示 / 現在のビューを左に移動します).

#### 各ビューの解析結果を見える

画面右側の解析結果エリアには、選択したビューの解析結果が表示されます。他のビューに切り替えると、そのビューの結果に変更されます。

また、すべてのビュー結果を同時に見ることができます。(ツールバーボタン **⊙**).  
このように表示されます。

Standard	With Weights	Classification
Standard	Standard	Acute miasmatic Standard
Show all remedies	Show all remedies	Automatic filter
1 2	1 2	1 0 ^ 2 ↔
calc ·	dulc ·	dulc ·
sil	calc ·	mang
puls	rhus-t	merc
merc	puls	nux-m
sulph	sep	kali-c
sep	merc	rhus-t
nat-m	nux-v	stict
chin	kali-c	nux-v
rhus-t	calc-p	sep
tub	mang	kali-i
ars	nux-m	merc-v
con	bell ·	kali-ar
kali-c	bry	calc-p
bell ·	hep	merc-i-f
dulc ·	carb-v	lem-m
calc-p	kali-ar	puls
carb-v	ars	ph-ac
lach	nat-m	sil
phos	con	graph
caust	tub	all-c
lyc	psor	carb-v
nit-ac	acon	nat-c
med	sulph	calc ·
syph	phos	psor
hep	nat-c	hep
bry	kali-i	bell ·
nux-v	rhod	aesc
chel	cham	rhod
staph	ant-c	teucr
alum	ph-ac	ant-c
graph	graph	nat-m
plut-n	zinc	acon
kali-ar		rumx

解析のリスト概要と似ていますが、1つのビューに1つの結果リストを表示します。上部に、各ビューで使用されている設定の概要が表示されます。

- 表の出力スタイルに選択された分析。
- 分類を用いた分析の場合、使用する分析式。
- 使用するレメディーフィルターです。
- 有効な各解析設定に対応した小画像を表示します。

## ベニングハウゼン

### Bönnighausen解析に関するいくつかの情報

ベニングハウゼン分析法は、他のレパートリーを使うのではなく、他の分析法と同様にComplete Repertoryを使って作業します。古いBönnighausenのレパートリーにあるすべてのループリックは、Complete Repertoryに存在します。ベニングハウゼンの分析システムは、患者さんの症状が必要ときに使う方法論で、特定の種類のレパートリーとは関係なく、どのレパートリーにもある一般化されたループリックに関係するものなのです。

その違いは、計算の仕方にあります。

あるレメディーがあるループリックでどのように表現されているかを見るだけでなく、レパートリーの他の部分にある関連ループリックでの表現に重きを置いています。

計算はこのように行います。

- ループリックに表示されている救済措置の評点は無視する。
- 代わりに、関連するループリックでの救済措置の発生から算出される救済措置評点を使用する。
- レメディーが、異なるレパートリーセクションの、より関連性の高いループリック（心、頭、一般性など）に出現する場合、より重要視する。
- 極ルビでの発生を修正する（amel-agg.やdesire-aversionなど）。

ベニングハウゼン分析スタイルでは、一般的に、より一般的で大きなループリックを使用することになります。特定のループリックと一般的なループリックを混在させることは、一般的に有用ではありません。

## 分析品質

### 良い分析をする技術

患者さんの症状を的確に分析することは芸術であり、その熟練度は明らかではありません。学校によって指導方法は異なります。個々の教師は、それぞれのスタイルや理論を推進しています。そして、良い分析は患者ごとに異なります。分析品質ツールは、一般的なエラーを防止し、成功の可能性を高めるお手伝いをします。

### 品質指標

Analysisモジュールのページ上部に、小さな色のボタンがあります。色は分析の質を示しています。

- 緑：軽微な改善勧告のみ。
- 黄色：品質は改善可能。
- 赤：この分析には重大な問題があります。

品質指標をクリックすると、改善の可能性を示唆するレポートが表示されます。

# マテリアメデイカモジュール

## Materia Medica モジュールを開く

MM タブをクリックし、Materia Medica モジュールに移動します。

Complete Repertory 2023  
Allen, Henry Clay  
Keynotes and Characteristics  
The Materia Medica of the Nos  
Allen, Timothy Field  
Clinical Hints  
The Encyclopaedia of Pure Mat  
Anschutz, Edward Pollock  
New, old and forgotten remedi  
Boericke, William  
Pocket Manual of Homeopathic  
Boger, Cyrus Maxwell  
A synoptic key of the Materia M  
Bönninghausen, Clemens v  
Characteristics  
Clarke, John Henry  
Dictionary of Practical Materia  
Cowperthwaite, Allen Corso  
A Textbook of Materia Medica  
Dewey, Willis Allonzo  
Essentials  
Farrington, Ernest Albert  
Clinical Materia Medica  
Hahnemann, Samuel  
Materia Medica Pura  
Organon of Medicin (6th ed.)  
Hansen, Oscar  
A Text-Book of Materia Medica  
Hering, Constantine  
The Guiding Symptoms of our  
Hutchinson, John W.  
700 Red Line Symptoms  
Kent, James Tyler  
Lectures on Homeopathic Mate

Boericke, William  
Arnica montana  
Leopard's Bane  
Produces conditions upon the system quite similar to those resulting from injuries, falls, blows, contusions. Tinnitus aurium. Putrid phenomena. Septic conditions; prophylactic of pus infection. Apoplexy, red, full face.  
It is especially suited to cases when any injury, however remote, seems to have caused the present trouble. After traumatic injuries, overuse of any organ, strains. Arnica is disposed to cerebral congestion. Acts best in plethoric, feebly in debilitated with impoverished blood, cardiac dropsy with dyspnea. A muscular tonic. Traumatism of grief, remorse or sudden realization of financial loss. Limbs and body ache as if beaten; joints as if sprained. Bed feels too hard. Marked effect on the blood. Affects the venous system inducing stasis. Echinomiasis and hemorrhages. Relaxed blood vessels, black and blue spots. Tendency to hemorrhage and low-fever states. Tendency to tissue degeneration, septic conditions, abscesses that do not mature. Sore, lame, bruised feeling. Neuralgias originating in disturbances of pneumo-gastric. Rheumatism of muscular and tendinous tissue, especially of back and shoulders. Aversion to tobacco. Influenza. Thrombosis. Hematocele.  
Mind. -Fears touch, or the approach of anyone. Unconscious when spoken to answers correctly, but relapses. Indifference; inability to perform continuous active work; morose, delirious. Nervous; cannot bear pain; whole body oversensitive. Says there is nothing the matter with him. Wants to be let alone. Agoraphobia (fear of space). After mental strain or shock.  
Head. -Hot, with cold body; confused; sensitiveness of brain, with sharp, pinching pains. Scalp feels contracted. Cold

Pocket Manual of Homeopathic Materia Medica  
spot on forehead. Chronic vertigo; objects whirl about especially when walking.  
Eyes. -Diplopia from traumatism, muscular paralysis, retinal hemorrhage. Bruised, sore feeling in eyes after close work. Must keep eyes open. Dizzy on closing them. Feel tired and weary after sight-seeing, moving pictures etc.  
Ears. -Noises in ear caused by rush of blood to the head. Shooting in and around ears. Blood from ears. Dullness of hearing after concussion. Pain in cartilages of ears as if bruised.  
Nose. -Bleeding after every fit of coughing, dark fluid blood. Nose feels sore; cold.  
Face. -Sunken; very red. Heat in lips. Herpes in face.  
Mouth. -Fetid breath. Dry and thirsty. Bitter taste. [Colony.] Taste as from bad eggs. Soreness of gums after teeth extraction. [Sepia.] Empyema of maxillary sinus.  
Stomach. -L longing for vinegar. Distaste for milk and meat. Canine hunger. Vomiting of blood. Pain in stomach during eating. Repletion with loathing. Oppressive gases pass upward and downward. Pressure as from a stone. Feeling as if stomach were passing against spine. Fetid vomiting.  
Abdomen. -Stitches under false ribs. Distended; offensive flatus. Sharp thrusts through abdomen.  
Stool. -Straining of tenesmus in diarrhea. Offensive, brown, bloody, putrid, involuntary. Looks like brown yeast. Must lie down after every stool. Diarrhea of consumption; worse lying on left side. Dysenteric stools with muscular pains.  
Urine. -Retained from over-exertion. Dark brick-red sediment. Vesical tenesmus with very painful micturition.

Complete Dynamics © Edoard van Grinsven

## 救済措置の選択

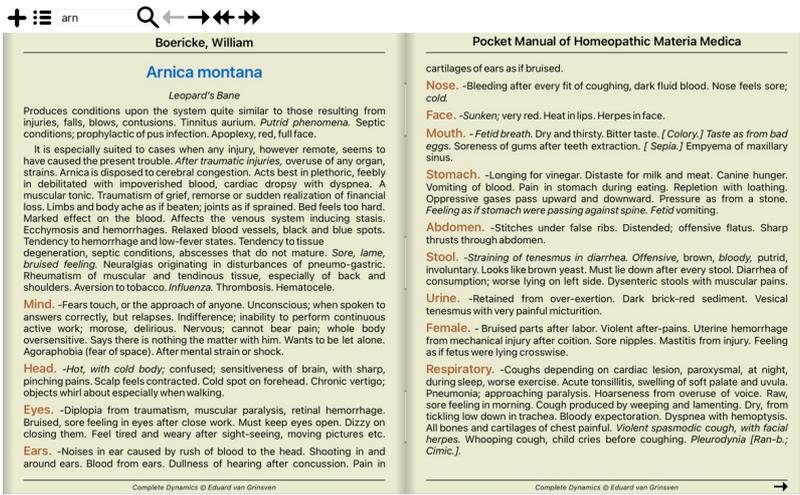
ツールバーの上のフィールドにレメデイの略語を入力することができます。略語がわからない場合は、欄外のQを押すことで救済策を調べることができます。

## 本を選ぶ

レメディーを選択した後、画面左側に表示されているマテリアメデイカのソースを任意に選択することができます。選択したレメディーがブック内に存在しない場合は、ブックタイトルがグレーで表示されます。

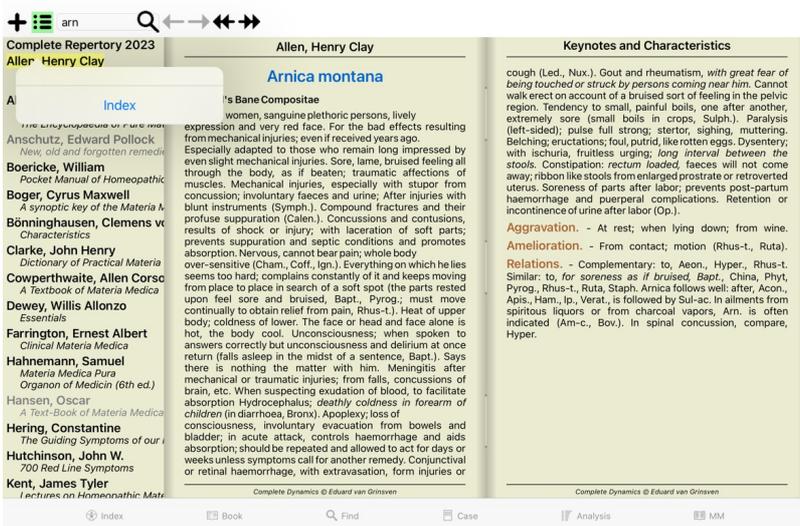
Complete Repertory 2023  
Allen, Henry Clay  
Keynotes and Characteristics  
The Materia Medica of the Nos  
Allen, Timothy Field  
Clinical Hints  
The Encyclopaedia of Pure Mat  
Anschutz, Edward Pollock  
New, old and forgotten remedi  
Boericke, William  
Pocket Manual of Homeopathic  
Boger, Cyrus Maxwell  
A synoptic key of the Materia M  
Bönninghausen, Clemens v  
Characteristics  
Clarke, John Henry  
Dictionary of Practical Materia  
Cowperthwaite, Allen Corso  
A Textbook of Materia Medica  
Dewey, Willis Allonzo  
Essentials  
Farrington, Ernest Albert  
Clinical Materia Medica  
Hahnemann, Samuel  
Materia Medica Pura  
Organon of Medicin (6th ed.)  
Hansen, Oscar  
A Text-Book of Materia Medica  
Hering, Constantine  
The Guiding Symptoms of our  
Hutchinson, John W.  
700 Red Line Symptoms  
Kent, James Tyler  
Lectures on Homeopathic Mate

読書スペースを確保したい場合は、ツールバーのボタン ≡ でインデックスを非表示にすることができます。

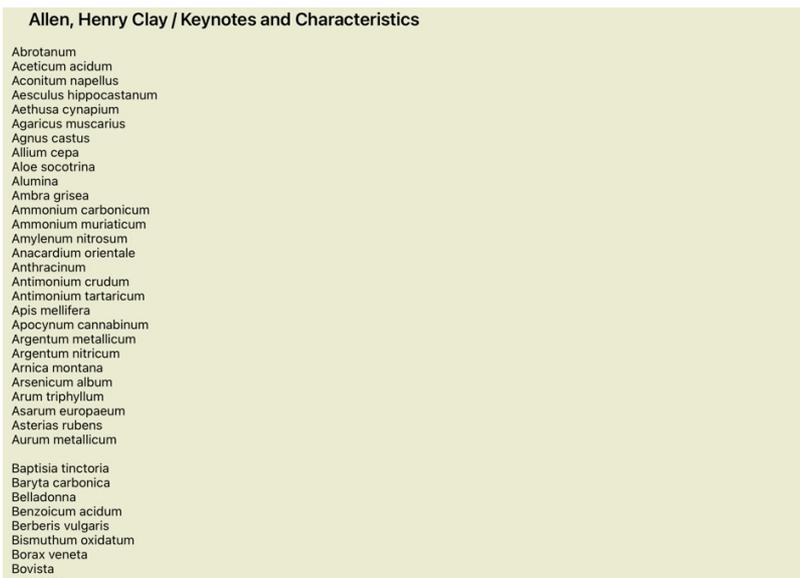


## レメディインデックス

書籍に収録されているすべてのレメディの概要を知るには、書籍タイトルのポップアップメニューを開いてください。(ポップアップメニューオプション索引)



収録されているすべてのレメディが掲載されているリストが表示されます。レメディ名をクリックすると、そのレメディのブックを開くことができます。



## 利用可能な書籍やインターネットサイト

Materia Medicaモジュールには、いくつかの書籍が用意されています。これらの書籍は、お客様の言語設定により、ご利用いただける言語が異なる場合があります。

Materia Medicaモジュールは、レメディ情報を提供するいくつかのインターネットウェブサイトと統合しています。これらのウェブサイトが利用可能かどうかは、お客様の言語設定によって異なります。なお、インターネット上のウェブサイトのコンテンツは、Complete Dynamicsには含まれませんが、便宜上、Materia Medica モジュールのみ表示されています。一部のウェブサイトでは、情報へのアクセスに際して料金を請求する場合があります。これは純粋にウェブサイト所有者のポリシーであり、お客様のComplete Dynamicsライセンスとは一切関係ありません。

## リバースマテリアメディカ

Reverse Materia Medica は、指定されたレメディのレポートの中から、最も重要な症状をそのまま表示します。

通常のマテリアメデイカのように、人間の専門家による解釈は行われません。Reverse Materia Medica は、レパートリーに蓄積された専門知識に完全にに基づいています。Book モジュール内のループリックに移動するには、そのループリックをダブルクリックするだけです。

重要な症状ほど大きく印刷されるので、様々な症状の相対的な重要性を簡単に見分けることができます。

以下のボタンで結果を修正することができます。

- 症状が少ない。
  - + より多くの症状
- フィルターフィルタードトップダウンリストでは、逆マテリアメデイカに表示されるルビの基準を選択することができます。
- 自動 最も関連性の高いループリックが自動的に選択されます。
  - 確認された症状 グレード3または4のレメデイのみが使用されます。これらは、実際に確認されている症状を示しています。
  - 完全な症状 完全な症状のみを使用しています。症状は、少なくとも3種類の情報が組み合わさって完成します。例時間+場所+延長
  - 確認済み+完了 確定と完全の症状のみ表示されます。
  - レッドライン症状 より多くのレパートリーに関連性のある症状が発生するものを優先する。
  - キーノート レメデイのグレードは3か4だが、他のレメデイはすべて低いグレードである。
  - ユニークなループリックレメデイが唯一発生しているルビだけを表示する。
- 🔊 Differential Diagnosisのオン/オフ。オンになっている場合は、その症状の他の重要なレメデイを示す。

### リバースマテリアメデイカにおける代替療法

ツールバーの🔊ボタンを押すと、その症状に対するいくつかの対処法が追加で表示されます。(ツールバーボタン🔊, ポップアップメニューオプションレメデイ/レメデイ比較表示)。

<b>MIND</b> ANGUISH; heart complaints, in; angina pectoris, in: <i>ARN</i> (+1) <i>dd: aml-n</i> ANSWER, answering, answers; stupor returns quickly after: <i>ARN</i> (+26) <i>dd: BAPT HYOS</i> DESPAIR; concussion, after: <i>ARN</i> DULLNESS; injuries of head, after: <i>ARN</i> (+9) FEAR; touch, of; gout, in: <i>ARN</i> (+1) <i>dd: colch</i> FORGETFULNESS; injuries, after: <i>ARN</i> (+8) <i>dd: HYPER</i> INDIFFERENCE, apathy; fever; during: <i>ARN</i> (+39) <i>dd: CHIN CON OP PH-AC PHOS SEP</i> INDIFFERENCE, apathy; heat; during: <i>ARN</i> (+10) <i>dd: PH-AC PULS Op Phos Sep</i> INDIFFERENCE, apathy; stool; after: <i>ARN</i> (+1) <i>dd: cycl</i> RESTLESSNESS, nervousness; perspiration; during: <i>ARN</i> (+39) STUPEFACTION, as if intoxicated; concussion of brain, after: <i>ARN</i> STUPEFACTION, as if intoxicated; injury, after: <i>ARN</i> (+5) <i>dd: cic con hell puls rhus-t</i> STUPEFACTION, as if intoxicated; perspiration; during: <i>ARN</i> (+14) <i>dd: HYOS OP PH-AC PHOS RHUS-T</i> UNCONSCIOUSNESS, coma; brain complaints, in: <i>ARN</i> (+46) <i>dd: APIS OP</i> UNCONSCIOUSNESS, coma; fever, during: <i>ARN</i> (+71) UNCONSCIOUSNESS, coma; injury, after: <i>ARN</i> (+11) <i>dd: CALEN</i> WEEPING, tearful mood; cough; before: <i>ARN</i> (+7) <i>dd: BELL BRY HEP ant-t ars bor phos</i> WEEPING, tearful mood; cough; during: <i>ARN</i> (+32) <i>dd: BELL HEP NAT-M</i> <b>HEAD</b> CONGESTION, hyperemia; chill; during: <i>ARN</i> (+26) <i>dd: CHIN ARS CEDR MERC SEP M-arct M-aust</i> CONGESTION, hyperemia; thirst, with: <i>ARN</i> (+3) <i>dd: Mang Thuj bov</i> HEAT; chilliness; during: <i>ARN</i> (+24) <i>dd: BELL BRY</i> HEAT; coldness, with; body, of: <i>ARN</i> (+42)	<b>HEAD (cont.)</b> INFLAMMATION; meninges, meningitis; injuries, after: <i>ARN</i> (+5) <i>dd: HEP HYPER NAT-S OP bell</i> PAIN, headache; brain complaints, in: <i>ARN</i> (+23) <i>dd: ACON</i> PAIN, headache; injuries, after: <i>ARN</i> (+40) <i>dd: ACON NAT-S</i> PAIN, headache; injuries, after; concussion: <i>ARN</i> (+20) <i>dd: ACON BELL CHIN CIC HYPER KALI-BR Hell</i> PAIN, headache; injuries, after; fall, after: <i>ARN</i> (+7) <i>dd: CIC HYOS Thiosin hyper nat-s rhus-t sul-ac</i> PAIN, headache; forehead; warmth; agg.: <i>ARN</i> (+14) <i>dd: APIS</i> PAIN, headache; burning, smarting; coldness of body, with: <i>ARN</i> (+1) <i>dd: coff-t</i> PAIN, headache; stitching; cough; during: <i>ARN</i> (+43) <i>dd: BRY SABAD SULPH</i> SWELLING; children: <i>ARN</i> (+2) <i>dd: RHUS-T Sil</i> <b>EYES</b> CATARACT, opacity of lens; injuries, after: <i>ARN</i> (+17) <i>dd: ACON</i> CATARACT, opacity of lens; operations, after: <i>ARN</i> (+5) <i>dd: ACON ALUMIN SENEG STAPH rhus-t</i> DUST; agg.: <i>ARN</i> (+32) <i>dd: ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH</i> HEMORRHAGE; coughing agg.: <i>ARN</i> (+5) <i>dd: HAM LED NUX-V carb-v cham</i> HEMORRHAGE; injuries, after: <i>ARN</i> (+5) <i>dd: LED NUX-V bry erig sul-ac</i> INFLAMMATION; injuries, after: <i>ARN</i> (+28) <i>dd: ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH</i> INFLAMMATION; injuries, after; foreign bodies, from: <i>ARN</i> (+7) <i>dd: ACON HEP SIL CALC PULS ham sulph</i> INJECTED; cough, during: <i>ARN</i> PAIN; injuries, after: <i>ARN</i> (+6) <i>dd: SYMPH BRY LED SULPH asar hyper</i> <b>EARS</b> INJURIES, after: <i>ARN</i> (+13) <i>dd: CAPS CHIN-S TELL Arist-cl Lach Nat-m</i> <b>HEARING</b>
---	--

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2023 © 2023 Roger van Zandvoort

各症状に対して、最大7つの代替療法が表示されます。この例では、7つのレメデイが表示されることもあれば、もっと少ないこともあることがわかります。これは、あるグレードのレメデイは、ALLが表示できる場合にのみ表示されるからです。つまり、グレード4とグレード3のレメデイが表示されている場合、そのループリックにはグレード4や3のレメデイは存在しないが、表示されていないグレード2や1のレメデイが存在する可能性があることを意味します。

レメデイが全く表示されない場合は、ループリックに同じ重要度のレメデイが8つ以上含まれているか、代替手段が全くないかのどちらかだと思われる。

### マテリアメデイカの追加

他のユーザーが作成したマテリアメデイカの本は、Complete Dynamics に簡単に追加することができます。マテリアメデイカの本は、ファイルに保存され、他のユーザーと共有することができます。新しいブックをインストールするには、ファイルをDocuments フォルダの下にあるComplete Dynamics というフォルダにコピーしてください。その後、Complete Dynamicsを停止して再起動します。そうすると、新しい本が自動的にあなたのMMセクションに表示されるようになります。

新しいマテリアメデイカブックを作成するには、Master Editionのライセンスが必要です。

### マテリアメデイカ早わかり

複数の書籍のマテリアメデイカのテキストを同時に素早く見ることができ、とても便利です。Materia Medica quick view ウィンドウでは、よりコンパクトなマテリアメデイカ本を複数同時に表示します。(ポップアップメニューオプションマテリアメデイカクイックビュー)。

**Cyclamen Europaeum**  
*Pharmacokinship - Remedy Relations (Nambison)*  
Followed well by: Phos., Puls., Rhus-t., Sep., Sulph.  
Antidoted by: Camph., Coff., Puls.  
Duration of action: 14 - 20 d  
Dose: 3 attenuation  
**700 RedLine Symptoms (Hutchinson)**  
1. - Flickering before the eyes, as of various colours, glittering needles, fiery specks and sparks.  
*Keynotes of the homeopathic Materia Medica (Lippe)*  
Sow Bread  
Pressing, drawing and tearing pain, principally in the periosteum.  
Chilblains of the feet.  
As long as he walks about he feels well with the exception of languor, but as soon as he sits down, especially in the evening, he suffers various inconveniences.  
Thirstlessness.  
Menses too profuse.  
Bad effects from eating much fat food (pork).  
Aggravation in the evening and while at rest.  
Amelioration whilst walking.  
*Keynotes and Characteristics (Allen)*  
Sow Bread Primulaceae  
Best suited for leucophlegmatic persons with anaemic or chlorotic conditions; easily fatigued, and in consequence not inclined to any kind of labor; feeble or suspended functions of organs or special senses. *Pale, chlorotic; deranged menses* (Ferr., Puls.), accompanied by vertigo, headache, dim vision. Pains; pressive, drawing or tearing of parts where bone lie near the surface. Ailments: from suppressed grief and terrors of conscience; from duty not done or bad act committed. Great sadness and peevishness, irritable, morose, ill-humored; inclined to weep; desire for solitude; *aversion to open air* (reverse of Puls.).

Close

# 救済情報

## 救済措置の詳細情報

例として、ルーブリック *Generalities; Food and drinks; apples; desires* を見てみましょう。

FOOD	GENERALITIES	GENERALITIES	FOOD
<b>FOOD and drinks; apples (cont.)</b> <b>desires:</b> (42) • Food and drinks; cool things, like apples, desires (2) • Food and drinks; fruits; desires (233) • eleven thirty pm., on falling asleep: (1) • Night, nine pm. - five am.; agg.; eleven thirty pm. (8) • water, with desire for cold: (1) • Food and drinks; cold; drinks; desires (342) • butter: (1) • cider • Food and drinks; cider; desires (6) • juice: (2) • cold: (2) • Food and drinks; cold; drinks; desires (342) • Food and drinks; fruits; desires; juicy; juices (47) • sour: (2) • Food and drinks; fruits; desires; sour, acid (26) • strudel: (1) <b>aromatic food</b> agg., smell of: (2) • Food and drinks; food in general; agg.; smell of (109) • Oils; strong; agg. (169) <b>desires</b> • Food and drinks; herbs, desires (11) • drinks: (1)	<b>FOOD and drinks; aromatic food; desires (cont.)</b> • food: (2) <b>artichokes</b> aversion: (4) • Food and drinks; vegetables; aversion (95) <b>desires:</b> (1) • Food and drinks; vegetables; desires (133) <b>artificial egg:</b> (12) baby food: (6) <b>ashes, desires:</b> (1) • Coal, charcoal, desires (7) • Food and drinks; inedible things; desires, pica (43) • Lime, slate pencils, clay etc., desires (29) <b>asparagus, desires:</b> (1) • Food and drinks; vegetables; desires (133) <b>aubergines, eggplant</b> aversion: (2) • Food and drinks; potatoes; aversion (13) • Food and drinks; tomatoes; aversion (15) • Food and drinks; vegetables; aversion (95) <b>desires:</b> (1) • Food and drinks; vegetables; desires (133) <b>avocado</b> agg.: (2)	<b>FOOD and drinks; avocado (cont.)</b> <b>desires:</b> (3) <b>baby food, desires:</b> (3) • Dissolved food, desires (1) <b>bacon</b> • Meat • Pork agg.: (4) • Food and drinks; fat and rich food; egg; (171) • Food and drinks; meat; agg. (129) <b>amel.:</b> (2) • Food and drinks; fat and rich food; amel. (6) • Food and drinks; meat; amel. (5) aversion: (2) • Food and drinks; fat and rich food; aversion (114) • Food and drinks; meat; aversion (222) • Food and drinks; meat; aversion; fat (18) • Food and drinks; pork; aversion (13) <b>desires</b> ● (23) • Food and drinks; fat and rich food; desires (125) • Food and drinks; ham; desires (14) • Food and drinks; lard; desires (4) • Food and drinks; meat; desires (192) • Food and drinks; pork; desires (38) <b>baked agg.:</b> (2) <b>bananas</b> • Fruits agg.: (6) • Food and drinks; fruits; agg. (157) • Food and drinks; plantain; agg. (1)	<b>FOOD and drinks; bananas (cont.)</b> amel.: (1) aversion: (6) • Food and drinks; fruits; aversion (58) <b>desires:</b> (27) • Food and drinks; fruits; desires (233) • dried: (1) • Food and drinks; fruits; desires; dried (7) • green: (1) • Food and drinks; green food; desires (19) <b>beans, peas, legumes</b> agg.: (26) • Food and drinks; flatulent food agg. (21) aversion: (11) • Food and drinks; lentils, aversion to (2) • Food and drinks; vegetables; aversion (95) <b>desires:</b> (5) • Food and drinks; seeds; desires (33) • Food and drinks; vegetables; desires (133) <b>beef</b> agg.: (3) aversion: (6) • Food and drinks; meat; aversion (222) • roasted: (1) • Food and drinks; meat; aversion; roasted (3)

詳細は、**ANT-T** をダブルクリックすると表示されます。  
これにより、Remedy Information ウィンドウが表示されます。

### Remedy information

**Rubric:** GENERALITIES; FOOD and drinks; apples; desires.

**Remedy abbreviation:** ant-t, grade 3.

**Standard name:** Antimonium tartaricum.

**English name:** Tartrate of antimony & potash.

**Occurrences in related rubrics:** 2, **average grade:** 2.0.

#### Sources.

- Allen T F *Encyclopedia of Pure Materia Medica*, 1874.
- Allen T F *Index of Encyclopedia*, 1876.
- Bönnigshausen *Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen*
- C M von *Arzneien with handwritten annotations*, 1833.
- Knerr C B *Repertory of Hering's Guiding Symptoms*, 1896.
- Lilienthal S *Homoeopathic Therapeutics*, Jain. B. (New Dehli), 1890.
- Lippe A von *Keynotes and Red line symptoms of Materia Medica*, 1915.
- Saine A *Materia Medica Pura Project*, 2018.
- Trinks C F & Müller C *Handbuch der homöopathischen Arzneimittellehre III*, T.O. Weigel (Leipzig), 1847.

[Close](#)

### 関連するルーブリックでの使用頻度

関連ルーブリックとは、この救済措置のために閲覧しているルーブリックと何らかの関係があるルーブリックのことです。

この例では、これらのルーブリックは

一般論: 食べ物や飲み物: リンゴのような冷たいもの、欲望

一般論: 飲食物: リンゴ、欲望: 水、冷たいものを欲すること

これらのルーブリックには、*ant-t* も含まれています。

関連するルーブリックでの出現回数が多いほど、またその平均的な重みが高いほど、その改善策をより重要視することができる。

### 情報源

レメデイの出典をすべて列挙します。これには、少なくとも著者名、書籍や雑誌のタイトル、出版年が含まれます。

# ジャンプ先フィールド

## タブレット端末

iPad、Androidタブレットでは、ツールバーボタンを選択すると、画面左上にジャンプ先の欄が表示されます。

## 目的

ウィンドウの左下にあるJump to フィールドは、レパートリーの中から指定されたループリックに素早くジャンプするために使用します。既知のループリックに素早くジャンプするために使用できます。探しているものがわからない場合は、代わりにFind フィールドを使用します。Jump to フィールドは、行きたい場所がわかっている場合に素早くナビゲートするのに役立ちます。

## フィールドの使用

Jump to フィールドに、ジャンプしたいループリックの最初の文字を入力するだけです。ループリックのパーツはスペースで区切られています。上記の例では、Mind; Fear; dogs of というループリックにジャンプしています。

それぞれのループリックフラグメントを識別するために必要な最小限の文字数だけを入力します。この例では、m fe dog と入力すれば十分である。入力中は、Jump to フィールドのすぐ下に表示される、解釈に関するフィードバックが提供されます。また、文字を入力すると、キーを押すたびに瞬時に新しいルビにジャンプします。

Mind; Fear; dogs, of というループリックを例にとり、入力中に何が起るか見てみましょう。最初のm は、mind と解釈されます。括弧内は、同じくm で始まる3つの選択肢です。なお、正しいかもしれないと解釈された部分は、緑色で印刷されています (m inmind,mouth, male,mirilli's themes)。



スペースキーを押すと、この部分は完了します。Mind は、4つの可能性のうち、確定した選択肢です。



これで、ループリック名の第2部がスタートしました。fはforenoon と解釈され、最初の可能な選択肢となる。



forenoon, だから、もう一文字入力してください。今恐怖が選択され、かなりの選択肢が残っている。単語の後に点がある場合 (例: fed...feeling...) は、ルビが本当はもつと長い (fed, desires to be feeling, loss of) が、他の選択肢にスペースを空けるために余計な単語は省かれたことを意味します。



ここでも、スペースを押すことで、正しいことが確認できます。



d led daytime only.



do は、doctors に移動します。



そして、犬は、あなたが本当に欲しいものを与える。[TAG\_ERROR]この本は、心: 恐怖: 犬、のところで開かれている。



Enterを押すだけで、目的の場所に移動できます。

注: [TAG\_ERROR]の犬は、全体が緑色で印刷されています。この文脈では、dog、この解釈しかありえないからだ。mind は、最初のm だけが緑色で印刷されています。これは、m で始まる選択肢もあるためです。fear は緑色の文字が2つ印刷されていますが、これはfe がユニークだからです。feces,fed,feeling,feigning などの代替案もfe で始まる。

## 失敗するのが人間

もちろん、あなたはすべてのレパートリー構成を暗記しているわけではないでしょう。誰もそんなことはしない。そのため、頻繁にミスをして、間違つたものを入力する可能性が高いです。例えば、ループリックMind; delusions; lions に行きたいと思います。正しいルビは actuallyMind; delusion; cats, felines, sees; lions であるため、このルビは存在しない。

だから、m delu lion と入力するのです。



これで、lion、一致しないので赤で表示されていることがわかります。

ジャンプ先と検索先の間にあるボタンを押して、検索に切り替えるだけなので、心配はありません。これは、Jump to フィールドのテキストをFind フィールドにコピーして、すぐに検索を開始します。Find モジュールは、探していたループリックを表示するようになりました。

## MIND

DELUSIONS, imaginations; cats, felines, sees; lions: (2)

DELUSIONS, imaginations; hand, hands; paw of a lioness, change into: (1)

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2023 © 2023 Roger van Zandvoort

最初のルビをダブルクリックするだけで、意図した通りの場所に本が開きます。

### ブックモジュール

Book モジュールでループリックを選択すると、*Jump to* のフィールドにそのループリックのショートテキストが自動的に入力されます。こうすることで、関連するループリックを簡単に見つけることができます。

#### 例

ループリック *Mind; fear; dogs, of, attacking him, in delirium* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます *min fear dog att.*

ループリック *Generalities; food and drinks; cold; drinks, water; agg.* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます。 *gen foo cold dri agg.*

ループリック名の各パーツには、最低3文字が使用される。1~2枚で十分な場合もありますが、その場合は文字が非常に読みづらくなるはずで、3文字では足りない場合、他のループリックと区別するために、より多くの文字が使われる。

## フィールドを探す

### タブレット端末

iPadやAndroidタブレットでは、ツールバーボタン [BUTTON:plus] を選択すると、画面右上に「検索」の項目が表示されます。

### パワフルで使い勝手の良い検索

Find

このフィールドには、個々のフィールドに入力できるすべての検索条件を入力できます（「モジュールの検索」セクションを参照）。しかし、検索フィールドを切り替えることなく、検索したい内容を入力・変更できるため、より効率的な検索が可能です。これは、とてとても速いことです。

知っておいていただきたいことがいくつかあります。Find モジュールの各フィールドに検索条件を入力するたびに、正しくフォーマットされた文字列がFindフィールドに自動的に入力されるため、実際には非常に簡単です。これは双方向に作用します。検索フィールドに入力したものは、解釈されたとおりに個々のフィールドに表示されます。

Text	<input type="text" value="menses bef..."/>
Remedies	<input type="text" value="sep cimic"/>
Min. grade	<input type="text" value="3"/> - +
Min. rubric size	<input type="text" value="0"/> - +
Max. rubric size	<input type="text" value="9999"/> - +
Complete symptoms	<input type="checkbox"/>
Chapters	<input type="text"/>
Rubric types	<input type="text"/>

Clear

Findフィールドが強力なのは、探しているものを好きな順番で入力できることです。そのため、ルビが多すぎる場合は、いくつかの用語を追加して入力すると、結果が少なくなります。また、以前に入力した基準を繰り返し入力することも可能で、最新の解釈が採用されます（評点、ループリックサイズ）。Findフィールドの使用と個々のフィールドを組み合わせてもできます。一方の拠点で変更した内容は、もう一方の拠点でも自動的に反映されます。

ルールは以下の通りです。

- テキスト** テキストフラグメントは、個々のテキストフィールドに入力したように、自動的にテキストとして解釈されます。ここでは、/、+、-の使い方は同じです（Find module のセクションの例を参照ください）。上記の例では、*menses* という単語と、*before* または *during* のどちらかを組み合わせて検索しています。
- レメディー** レメディーの略語はドットで終わらせる必要があります。Remedies の欄は任意ですが、ここではテキストの断片とレメディーの略語の混乱を避けるため、ドットで終わらせる必要があります。（混同例: *sep* は、*sepia* と *separation* のどちらかの意味になります。）  
ここでも / と + の使い方は同じです。例については、セクション *Find module* を参照してください。上記の例では、*sepia* または *cimicifuga* のいずれかを検索対象としています。  
注: それ自体が略語でないレメディー (*Apis* や *Bufo* など) も、最後にドット (*apis. bufo.*) を付ける必要があります。
- グラデーション** \*1,\*2,\*3,または\*4を入力することにより、最小レメディー階調1~4を指定することができます。この表現は、次のように読み替えることができます。要求されたすべての(\*)救済措置は、この等級以上である必要があります。  
あるいは、\*の付いていない1、2、3、4の数字も同様に最小救済階調と解釈する。つまり、4 は、\*4 と同じである。
- ループリックサイズ** 最小および最大のループリックサイズは、>または<の前に数字を付けて指定することができます。  
<50は50回以下のレメディーを意味します。  
>10は10回以上のレメディーを意味します。  
または、5以上の数字で始まるものは、自動的に最大ループリックサイズと解釈される。つまり、50 は、<50 と同じです。

### 事例紹介

上記の例を拡張して、最大50個の救済を含むループリックに制限してみましょう。  
以下の条件の入力方法は、すべて同じ結果になります。

月経前/月経中 \*3 <50  
月経前/月経中 3 50  
月経の前または中に分離する 3 <50 cimic.  
50 月経前 / 月経中 / 半月期3  
月経前/月経中 2 cimic.200 50 3

最後の例では、最初のグラデーションが2だったのが、後から3になっていたり、ループリックの最大サイズが200だったのが50になっていたりするのがわかりますね。これは例として分かりにくいかもしれませんが、検索中に検索結果を絞り込みたいときには、実はとても効率的な方法なのです。前に入力した基準を削除することなく、新しい基準を入力することができます。

ヒントテキスト検索では、「=」、「\*」、「"」という特殊な表記も使用することをお忘れなく。

=dog will finddog, but notdogmatic.

\*ation will findpalpitation as well asperspiration andovulation.

"he is" は、順番が同じなら、he とis だけが見つかります。

## プリファレンス設定

プログラムのいくつかのオプションは、個人の好みに応じて設定することができます。これらのオプションは、*Index* モジュールにある *dePreferences* ボタンで変更できます。いくつかのセクションからなるダイアログが表示されます。

### 一般設定

**Preferences**

Program language

Animations

Optimize for

Include Kent's repertory

---

General Book Find Case More

Cancel OK

**プログラム言語** ここでは、いくつかの言語オプションが用意されており、そこから選択することができます。

使用できる言語は、*Complete Dynamics* のバージョンによって異なります。

**アニメーション** *Complete Dynamics* の一部では、ケースを開いたり閉じたりする際にアニメーションが使用されています。

これは見た目はいいのですが、仕上がりに時間がかかるんです。これらのアニメーションが必要ない場合は、このオプションのチェックを外してください。

**カラースキーム** あなたの好みに合わせて色を使用するためのいくつかのオプション。

**標準フォント名** ここで、プログラムで使用のお好みのフォントを選択することができます。

**最適化** この設定は、iPad アプリのメモリ使用量に影響します。

**高速化** 選択した場合、プログラムはデータをメモリに保持し、速度を向上させようとします。このオプションは、主に *Complete Dynamics* で作業する場合に推奨されます。

**メモリ使用量の削減** 選択すると、他のプログラムに切り替えたときに、できるだけ多くのメモリを解放するようになります。これにより、iPad によって終了させられるリスクは減りますが、プログラムの動作が遅くなります。このオプションは、複数のプログラムを使用して作業する場合や、古い iPad を使用している場合に推奨されます。

**ケントのレパートリー** *Kent's Repertory, 6th edition* を別のレパートリーとして利用したい場合は、このオプションにチェックを入れてください。

**トリーを含む** *Kent's Repertory* の内容はすべて *Complete Repertory* にすでに収録されています。しかし、人によっては、他の資料からすべての追加をせずに、*Kent* に相談することを好む人もいます。

このオプションにチェックを入れると、*Kent* が *Index* モジュールで利用できるようになります。

### 図書の設定

**Preferences**

Repertory language

Author numbers

Show rubric size

Rubrics in alphabetic order

---

General **Book** Find Case More

Cancel OK

**レパートリー言語** レパートリーに使用する言語です。

2つ目のオプションは、ループリックテキストの後に表示される第二言語です。第二言語は、レパートリー翻訳を購入した場合のみ利用可能です。

**横スクロール**

このオプションにチェックを入れると、横スクロールの機能が有効になります。

この機能は、マウスやトラックパッドが水平方向のスクロールに対応している場合にのみ使用できます。

**ループリックサイズを表示する**

チェックした場合、*Book* モジュールは常にループリックの救済措置の数を表示します。チェックしない場合は、レメイが表示されていないときのみ、番号が表示されます。

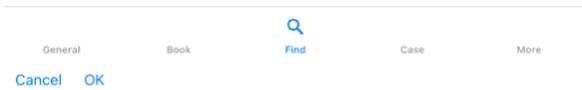
**アルファベット順のループリック**

チェックした場合、*Book* モジュールは常にアルファベット順でループリックを表示します。チェックを入れない場合は、ケントが紹介した標準的なレパートリー順となります。

### 設定の検索

## Preferences

Automatic layout

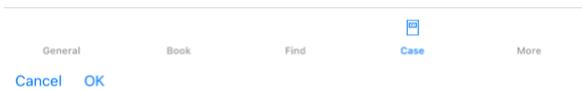


**自動レイアウト** このオプションをオンにすると、画面に十分なスペースがある場合、検索結果が自動的に複数列で描画されます。チェックを入れないと、すべてのループリックが一行に描画されます。

### ケース設定

## Preferences

Minutes until automatic lock of cases 0 - +  
Automatically delete archived cases Never  
Use Cloud Server



**ケースの自動ロックまでの分數** 患者情報を保護するためにパスワードを設定した場合、このオプションは、Caseモジュールが自動的にロックされるまでの時間を設定します。ここに0を入力すると、自動ロックは行われません。

**アーカイブされたケースを自動的に削除** アーカイブされたケースを永久に削除するまでの時間を選択します。Neverを選択した場合、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

**クラウドサーバーの利用** クラウドサーバーにケースのコピーを保存します。

### 解析設定

## Preferences

< More

Remedy coloring HFA

Analysis formulas

Standard	<input checked="" type="checkbox"/>
Small remedies	<input checked="" type="checkbox"/>
Small rubrics	<input checked="" type="checkbox"/>
Bönninghausen	<input checked="" type="checkbox"/>
Simple counting	<input checked="" type="checkbox"/>

↑ ↓ Show analysis

General Book Find Case More

Cancel OK

**レメダイカラーリングHFA** このオプションをチェックすると、Grant Bentleyの顔分析法に従ったカラーレメダイが分析できるようになります。Analysisモジュールでは、新しいツールバーボタン (▲) が表示され、色付けのオン/オフを切り替えられるようになりました。このオプションの使用は、このメソッドのコースを成功裏に完了した場合にのみ有効です。

**関連するループリックのみを表示する** Analysis モジュールでは、ループリックと救済措置の関係が結果の表グラフで示される。重み付けが0になっている症状やループリックは、実際には解析結果に寄与していません。このオプションをチェックすると、分析結果に寄与しないループリックの救済は、結果表のグラフから除外されます。こうすることで、ループリックが分析結果にどのように寄与しているかが、よりわかりやすくなります。

**解析式** Analysisモジュールでは、いくつかの分析式を使用することができます。これらのうち、どの数式をどの順番で表示するかを選択することができます。分析の表示順を変更するには、分析名をクリックして選択します。BUTTON:up1]、↓のボタンで、リストの上下に移動させることができます。分析を含めるか除外するかは、in を選択してから、チェックボックスShow analysis をクリックします。

## マテリアメдика設定

## Preferences

< More

Show Materia Medica for the following languages

English

Portuguese

Spanish

French

German

Russian

General Book Find Case More

Cancel OK

**言語** マテリアメдикаの言語が複数用意されています。デフォルトでは、コンピュータの言語と国の設定、およびライセンスオプションに従って、言語が表示されます。Materia Medica モジュールで表示する書籍の言語を選択することができます。



## フィードバック

皆様のご協力とご意見をお聞かせください。

Complete Dynamicsの制作者は、最高の品質と操作性、そして商用版としての適度な価格設定を実現することに全力を注いでいます。品質面では、ソフトウェア開発において、ゼロ・フォールト・トランスのアプローチをとっています。プログラムの不具合は絶対に許されないので、発見された場合は最優先で解決します。ユーザビリティは非常に個人的な問題なので、より複雑な問題です。私たちと専門の評価者グループは、お客様の声を常に評価しながら、最高の使い勝手を追求しています。

お客様のご協力により、Complete Dynamicsは常に向上し続けることができます。

### フィードバックの方法

ご意見・ご感想は、弊社ホームページ[www.completdynamics.com](http://www.completdynamics.com)、セクションお問い合わせからお願いします。また、[support@completdynamics.com](mailto:support@completdynamics.com)、までメールをお送りください。